

岡山大学

OKAYAMA UNIVERSITY

2019

大学概要



OKAYAMA
UNIVERSITY

世界への扉を開く





岡山大学概要2019

目次

歴代学長	2
学年暦	2
理念・目的・目標	3
沿革	4
組織図	6
役職員	8
教育研究組織等	11
大学院	11
学部	12
専攻科・別科	12
研究所	13
岡山大学病院	13
全学センター	14
附属学校	15
附属図書館	15
共同利用・共同研究拠点	15
教育関係共同利用拠点	15
機構	16
教育研究プログラム戦略本部	16
ダイバーシティ推進本部	17
SDGs推進本部	17
国際学都おかやま創生本部	17
岡山大学オープンイノベーション機構	17
海外拠点	17
統計	18
役職員数	18
学生数	20
児童・生徒及び園児数	23
入学者数	23
卒業生進路（修了者就職状況）	25
奨学生数	27
学位授与者数	28
岡山大学病院病床数及び患者数	28
国際交流	29
協定大学等分布	29
協定一覧	29
海外留学者数の推移	31
外国人留学生数の推移	31
教員の海外渡航者数及び 外国人研究者受入状況	33
財政	34
土地・建物	36
諸施設	38
社会連携	40
関連組織	41
アクセス	42
キャンパスマップ	44

歴代学長



第14代学長
医学博士
榎野博史

林	道 倫	昭和 24.5.31	～昭和 24.6.28※
林	道 倫	昭和 24.6.29	～昭和 27.7.25
清 水	多 榮	昭和 27.7.26	～昭和 33.1.30
藤 原	秀 勝	昭和 33.1.31	～昭和 33.5.31※
八 木	日出雄	昭和 33.6. 1	～昭和 37.5.31
服 部	静 夫	昭和 37.6. 1	～昭和 39.4.30
赤 木	五 郎	昭和 39.5. 1	～昭和 44.5. 9
谷 口	澄 夫	昭和 44.5. 9	～昭和 44.6.13※
谷 口	澄 夫	昭和 44.6.14	～昭和 50.6.13
小 坂	淳 夫	昭和 50.6.14	～昭和 56.6.13
大 藤	真	昭和 56.6.14	～昭和 62.6.13
高 橋	克 明	昭和 62.6.14	～平成 5.6.13
小 坂	二度見	平成 5.6.14	～平成 11.6.13
河 野	伊一郎	平成 11.6.14	～平成 17.6.13
千 葉	喬 三	平成 17.6.14	～平成 23.3.31
森 田	潔	平成 23.4. 1	～平成 29.3.31
榎 野	博 史	平成 29.4. 1	～

注：※印は、学長事務取扱を表す。

学年暦

4月1日	学年始め、第1学期開始、 前期開始（大学院、法学部夜間主コース及び経済学部夜間主コース）
4月2日	入学式
6月12日	第1学期終了
6月13日	第2学期開始
8月10日	第2学期終了
8月11日	夏季休業（～9月30日）
9月25日	学位記等授与式
9月30日	前期終了（大学院、法学部夜間主コース及び経済学部夜間主コース）
10月1日	第3学期開始、 後期開始（大学院、法学部夜間主コース及び経済学部夜間主コース）
10月1日	秋季入学式
10月22日	開学記念日
12月1日	第3学期終了
12月2日	第4学期開始
12月25日	冬季休業（～1月4日）
2月14日	第4学期終了
2月15日	春季休業（～3月31日）
3月25日	学位記等授与式
3月31日	後期終了（大学院、法学部夜間主コース及び経済学部夜間主コース）、学年終了

理念・目的・目標

1 理念

“高度な知の創成と的確な知の継承”

人類社会を安定的、持続的に進展させるためには、常に新たな知識基盤を構築していかなばなりません。岡山大学は、公的な知の府として、高度な知の創成（研究）と的確な知の継承（教育と社会還元）を通じて人類社会の発展に貢献します。

2 目的

“人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築”

岡山大学は、「自然と人間の共生」に関わる、環境、エネルギー、食料、経済、保健、安全、教育等々の困難な諸課題に対し、既存の知的体系を発展させた新たな発想の展開により問題解決に当たるといふ、人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築を大学の目的とします。

このため、我が国有数の総合大学の特色を活かし、既存の学問領域を融合した総合大学院制を基盤にして、高度な研究とその研究成果に基づく充実した教育を実施します。

3 目標

(1) 教育の基本的目標

岡山大学は、大学が要請される最重要な使命である教育活動を充実させます。

これまでの高度な研究活動の成果を基礎として、学生が主体的に“知の創成”に参画し得る能力を涵養するとともに、学生同士や教職員との密接な対話や議論を通じて、個々人が豊かな人間性を醸成できるように支援し、国内外の幅広い分野において中核的に活躍し得る高い総合的能力と人格を備えた人材の育成を目的とした教育を行います。

(2) 研究の基本的目標

岡山大学におけるあらゆる活動の源泉は、先進的かつ高度な研究の推進にあります。

常に世界最高水準の研究成果を生み出すことをその主題とし、国際的に上位の研究機関となるよう指向します。

(3) 社会貢献の基本的目標

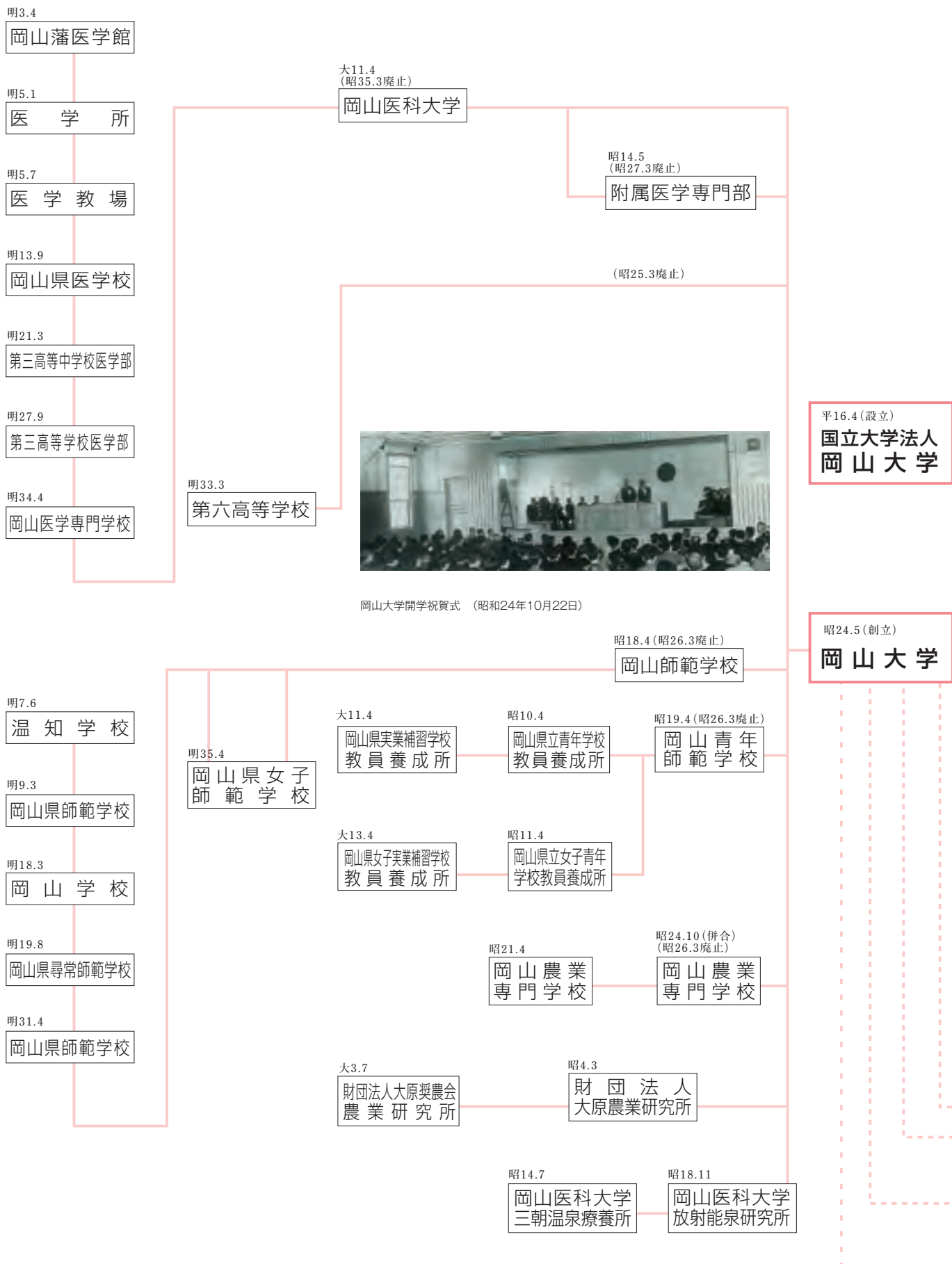
社会が抱える課題を解決するため、総合大学の利点を活かし、大学の知や技術の成果を社会に還元すると同時に、積極的に社会との双方向的な連携を目指します。

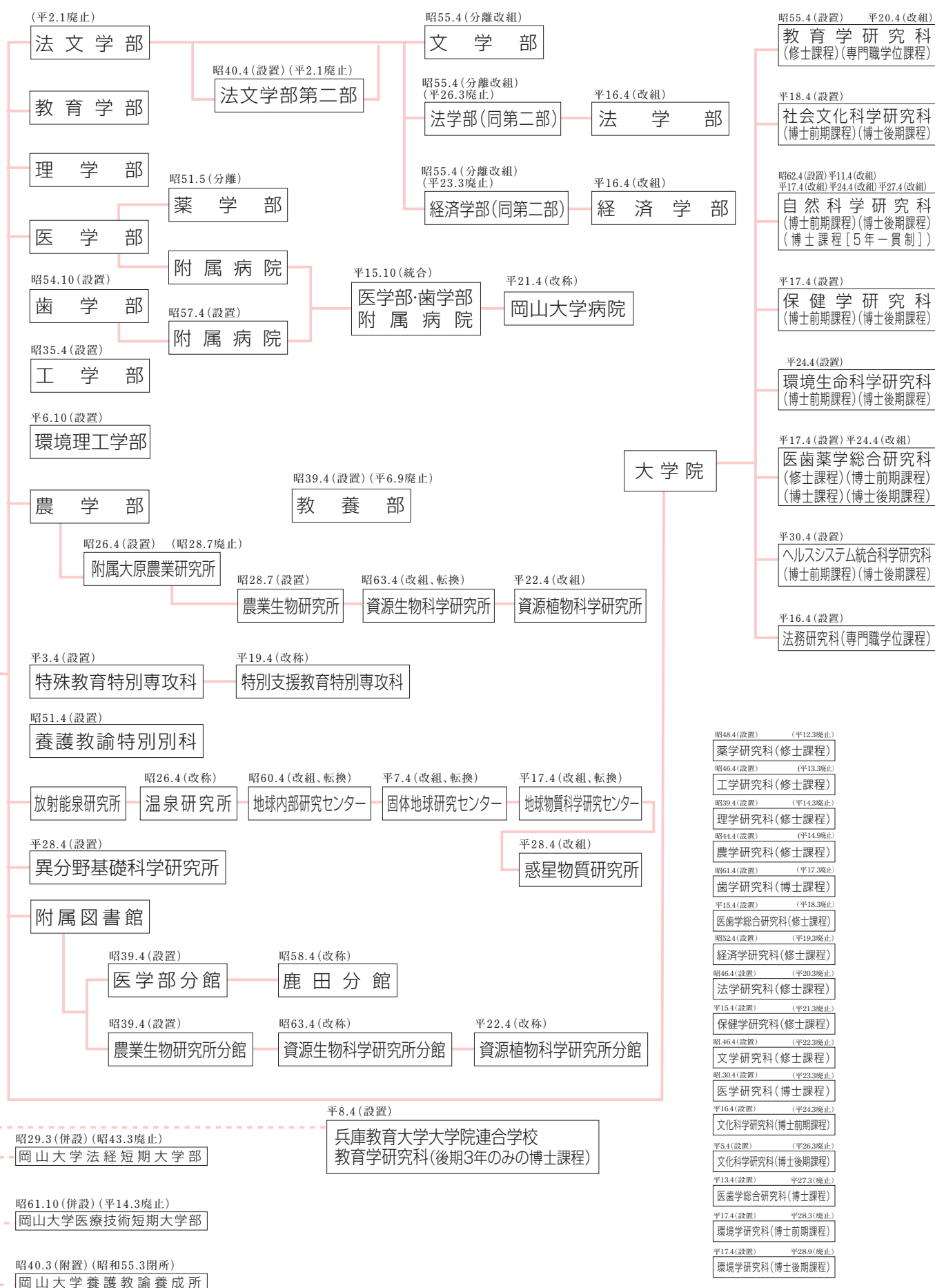
(4) 経営の基本的目標

研究、教育の目標を効果的に達成するため、大学に賦存する人材、財政、施設設備などの資源をトップマネジメントにより戦略的に利活用します。

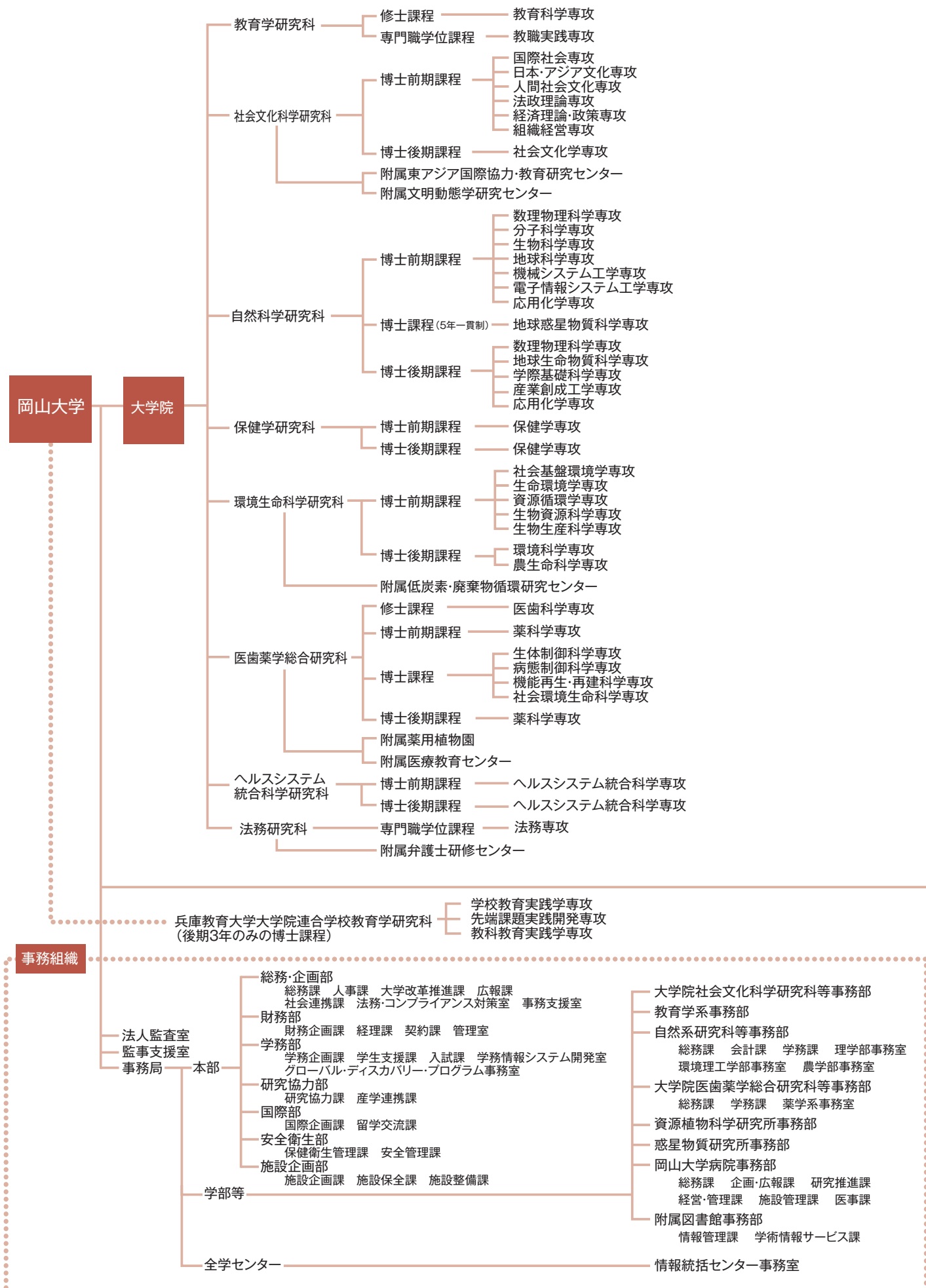
(5) 自己点検評価の基本的目標

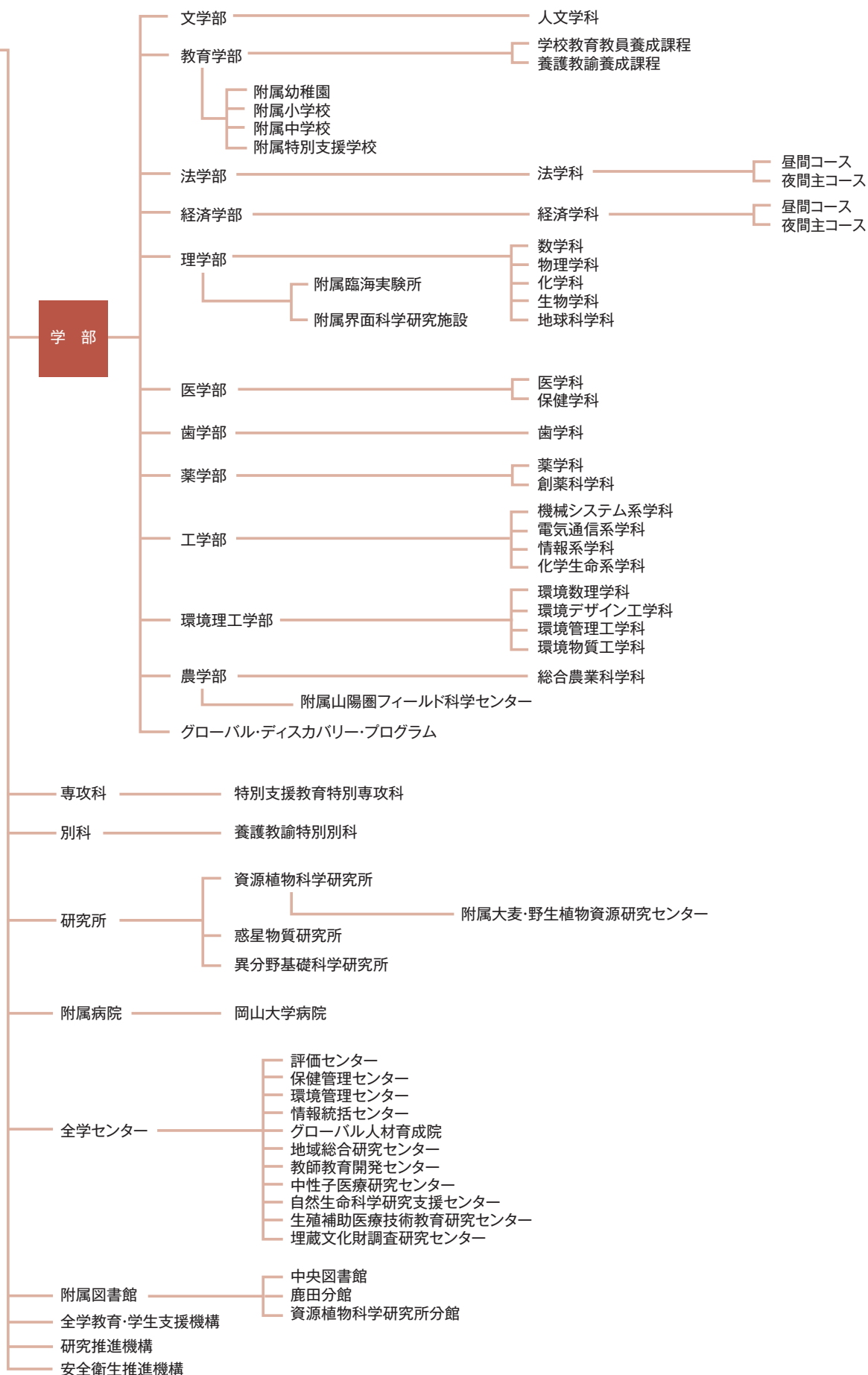
公的機関として社会への説明責任を果たすため、研究、教育、社会貢献、管理運営のすべての分野において不断の自己点検評価を実施し公表するとともに、その結果を的確に大学改革に反映します。





組織図





役職員

令和元年6月1日現在

役員等

学長	榎 野 博 史
理事（企画・評価・総務担当）	高 橋 香 代
理事（教学担当）・総括副学長	佐 野 寛
理事（研究担当）・副学長	那 須 保 友
理事（財務・施設担当）・事務局長	渡 邊 和 良
理事（医療担当）・岡山大学病院長	金 澤 右
理事（特命（経営力強化）担当）（非常勤）	青 山 竜 文
監事	苅 田 昌
監事（非常勤）	上 岡 美保子
副学長（特命（社会連携）担当）	加 賀 勝 博
副学長（特命（法務・コンプライアンス）担当）	神 例 康
副学長（特命（海外戦略）担当）	横 井 篤 文
副学長（特命（理工系改革）担当）	菅 誠 治
副学長（入試改革担当）	門 田 充 司
副学長（国際担当）	木 村 邦 生
副理事（SDG s 推進担当）	狩 野 光 伸
副理事（企画・評価・総務担当）	青 尾 謙 男
副理事（教育担当）	伊 野 英 一
副理事（研究担当）	古 矢 修 一
副理事（経営力強化担当）	佐 藤 法 仁
学長特別補佐	小 村 俊 平
エグゼクティブ・アドバイザー	菅 裕 明

教育学研究科

研究科長	三 村 由香里
副研究科長	西 山 修
副研究科長	桑 原 敏 典
副研究科長	高 瀬 淳

社会文化科学研究科

研究科長	釣 雅 雄
副研究科長	遊 佐 徹
副研究科長	大 森 秀 臣
副研究科長	津 守 貴 行
附属東アジア国際協力・教育研究センター長	釣 雅 雄
附属文明動態学研究センター長	釣 雅 雄

自然科学研究科

研究科長	富 田 栄 二
副研究科長	池 田 直
副研究科長	鈴 木 孝 義
副研究科長	鶴 田 健 二

保健学研究科

研究科長	中 塚 幹 也
副研究科長	廣 畑 聡
副研究科長	中 村 隆 夫

環境生命科学研究科

研究科長	舟 橋 弘 晃
副研究科長	西 山 哲
副研究科長	森 也 寸志
副研究科長	後 藤 丹 十郎
附属低炭素・廃棄物循環研究センター長	舟 橋 弘 晃

医歯薬学総合研究科

研究科長	大 塚 愛 二
副研究科長	大 原 直 也
副研究科長	上 原 孝

副研究科長	浅 沼 幹 人
副研究科長	浅 海 淳 一
副研究科長	三 好 伸 一
附属薬用植物園長	三 好 伸 一
附属医療教育センター長	大 塚 愛 二

ヘルスシステム統合科学研究科

研究科長	妹 尾 昌 治
副研究科長	五 福 明 夫
副研究科長	出 村 和 彦
副研究科長	早 川 聡 美
副研究科長	兵 藤 好 美

法務研究科

研究科長	佐 藤 吾 郎
副研究科長	鈴 木 隆 元
副研究科長	木 下 和 朗
附属弁護士研修センター長	吉 野 夏 己

文学部

学部長	田 仲 洋 己
副学部長	宮 崎 和 人
副学部長	竹 島 あゆみ

教育学部

学部長	三 村 由香里
副学部長	西 山 修
副学部長	桑 原 敏 典
副学部長	高 瀬 淳
附属幼稚園長	高 橋 敏 之
附属小学校長	前 田 潔 力
附属中学校長	川 田 明 孝
附属特別支援学校長	仲 矢 明 孝

法学部

学部長	河 原 祐 馬
副学部長	黒 神 直 純
副学部長	塩 谷 毅

経済学部

学部長	張 星 源
副学部長	村 井 淨 信
副学部長	古 松 紀 子

理学部

学部長	富 岡 憲 治
副学部長	市 岡 優 典
副学部長	野 沢 徹 哉
附属臨海実験所長	坂 本 竜 尚
附属界面科学研究施設長	横 谷 尚 睦

医学部

学部長	浅 沼 幹 人
副学部長	大 内 淑 代
副学部長	齋 藤 信 也

歯学部

学部長	浅 海 淳 一
副学部長	鳥 井 康 弘
副学部長	久保田 聡

薬学部

学部長	三好伸一
副学部長	黒崎勇二
副学部長	上原孝

工学部

学部長	阿部匡伸
副学部長	岡安光博
副学部長	田野哲正
副学部長	依馬

環境理工学部

学部長	難波徳郎
副学部長	近森秀高
副学部長	坂本亘

農学部

学部長	木村吉伸
副学部長	久保康隆
副学部長	宮竹貴久
附属山陽圏フィールド科学センター長	齊藤邦行

グローバル・ディスカバリー・プログラム

ディレクター	中谷文美
副ディレクター	黒神直純
副ディレクター	上田均
副ディレクター	木村幸敬

資源植物科学研究所

所長	坂本亘
副所長	鈴木信弘
附属大麦・野生植物資源研究センター長	佐藤和広

惑星物質研究所

所長	薛献宇
副所長	芳野極

異分野基礎科学研究所

所長	久保園芳博
副所長	沈建仁

岡山大学病院

病院長	金澤右
副病院長	大塚文男
副病院長	増山寿
副病院長	宮脇卓也
副病院長	豊岡伸一
副病院長	前田信修
副病院長	柳原文宏
副病院長	塚原昌一
副病院長	宗宮昌子

全学センター

評価センター長	五福明夫
保健管理センター長	岩崎良章
環境管理センター長	菅誠治
情報統括センター長	村上昌己
グローバル人材育成院長	木村邦生
グローバル人材育成院副院長	田中子
グローバル人材育成院副院長	門田功
グローバル人材育成院副院長	廣畑聡

グローバル人材育成院副院長	中谷文美
グローバル人材育成院副院長	神原信幸
地域総合研究センター長	三村聡
地域総合研究センター副センター長	前田芳男
教師教育開発センター長	三村由香里
教師教育開発センター副センター長	高旗浩志
教師教育開発センター副センター長	橋本拓治
中性子医療研究センター長	那須保友
中性子医療研究センター副センター長	古矢修一
中性子医療研究センター副センター長	金澤右
自然生命科学研究支援センター長	那須保友
自然生命科学研究支援センター副センター長	田村隆
生殖補助医療技術教育研究センター長	佐野寛
生殖補助医療技術教育研究センター副センター長	廣畑聡
生殖補助医療技術教育研究センター副センター長	木村吉伸
埋蔵文化財調査研究センター長	渡邊和良
埋蔵文化財調査研究センター副センター長	山本悦世

附属図書館

館長	今津勝紀
副館長	甲賀研一郎
副館長	李禎之
鹿田分館長	森本美智子
資源植物科学研究所分館長	平山隆志

全学教育・学生支援機構

機構長	佐野寛
副機構長	伊野英男
副機構長	佐々木健二

研究推進機構

機構長	那須保友
-----	------

安全衛生推進機構

機構長	渡邊和良
副機構長	宮崎隆文

事務組織

法人監査室長	笠原秀起
--------	------

〔事務局〕

事務局長	渡邊和良
------	------

〔本部〕

総務・企画部長	渡部廉弘
総務課長	長谷川拓哉
人事課長	高橋伸二
大学改革推進課長	林忠行
広報課長	妹尾和成
社会連携課長	高杉規
法務・コンプライアンス対策室長	渡部廉弘
事務支援室長	藤本保博
学務部長	中村浩之
学務企画課長	萱野朋子
学生支援課長	稲垣幸三
入試課長	石黒智幸
グローバル・ディスカバリー・プログラム事務室長	中村浩之
研究協力部長	坂口浩司
研究協力課長	山崎征洋
産学連携課長	恒國昭二

国際部長	原 田 美 樹	自然系研究科等理学部事務室長	秋 山 佳 子
国際企画課長	岡 崎 安 洋	自然系研究科等環境理工学部事務室長	藤 原 浩 一
留学交流課長	今 西 勝 毅	自然系研究科等農学部事務室長	近 藤 一 彦
安全衛生部長	長 砂 修 平	大学院医歯薬学総合研究科等事務部長	山 口 太 司
保健衛生管理課長	兼 田 修 平	大学院医歯薬学総合研究科等総務課長	大 田 学 隆
安全管理課長	長 砂 修 平	大学院医歯薬学総合研究科等学務課長	石 田 達 彦
財務部長	藤 波 豊 彦	大学院医歯薬学総合研究科等薬学系事務室事務長	浜 家 大 作
財務企画課長	佐々木 淳 利	資源植物科学研究所事務長	原 田 大 作
経理課長	横 田 智 秀	惑星物質研究所事務長	河 本 雅 紀
契約課長	阿 部 秀 一	岡山大学病院事務部長	徳 山 久 丈
管理室長	藤 波 豊 彦	岡山大学病院総務課長	木 村 勝 弘
施設企画部長	岩 永 仁 志	岡山大学病院企画・広報課長	早 川 みどり
施設企画課長	早 川 正 志	岡山大学病院研究推進課長	三 枝 豊 二
施設保全課長	新 西 正 典	岡山大学病院経営・管理課長	有 川 正 二
施設整備課長	江 草 龍 源	岡山大学病院施設管理課長	茅 原 勲 美
		岡山大学病院医事課長	直 原 敦 利
[学部等]		附属図書館事務部長	大 元 利 彦
大学院社会文化科学研究科等事務長	川 口 克 己	附属図書館情報管理課長	尾 崎 文 代
教育学系事務長	近 常 聡 希一郎	附属図書館学術情報サービス課長	富 岡 達 治
自然系研究科等事務部長	高 月 希一郎		
自然系研究科等総務課長	藤 原 浩 一	[全学センター]	
自然系研究科等会計課長	岸 繁 樹	情報統括センター事務室長	北 條 充 敏
自然系研究科等学務課長	中 山 達 也		

経営協議会委員

令和元年5月1日現在

学長	榎 野 博 史	倉敷市長	伊 東 香 織
理事（企画・評価・総務担当）	高 橋 香 代	岡山済生会総合病院名誉院長	糸 島 達 也
理事（教学担当）	佐 野 寛 彦	弁護士	小 林 裕 彦
理事（研究担当）	那 須 保 友	山陽新聞社代表取締役社長	松 田 正 己
理事（財務・施設担当）	渡 邊 和 良	株式会社中国銀行専務取締役	青 山 肇
理事（医療担当）	金 澤 右 夫	岡山トヨタ自動車株式会社代表取締役社長	梶 谷 俊 介
名古屋外国語大学長	亀 山 郁 夫		
日本司法支援センター理事長	板 東 久美子		
岡山県青少年育成県民会議会長	門 野 八洲雄		

教育研究評議会評議員

令和元年6月1日現在

学長	榎 野 博 史	大学院ヘルスシステム統合科学研究科長	妹 尾 昌 治
理事（企画・評価・総務担当）	高 橋 香 代	大学院法務研究科長	佐 藤 吾 郎
理事（教学担当）	佐 野 寛 彦	文学部長	田 仲 洋 己
理事（研究担当）	那 須 保 友	法学部長	河 原 祐 馬
理事（財務・施設担当）	渡 邊 和 良	経済学部長	張 星 源
理事（医療担当）	金 澤 右 夫	理学部長	富 岡 憲 治
副学長（特命（社会連携）担当）	加 賀 勝 博	医学部長	浅 沼 幹 人
副学長（特命（法務・コンプライアンス）担当）	神 例 康 博	歯学部長	浅 海 淳 一
副学長（特命（海外戦略）担当）	横 井 篤 文	薬学部長	三 好 伸 一
副学長（特命（理工系改革）担当）	菅 誠 治	工学部長	阿 部 匡 伸
副学長（入試改革担当）	門 田 充 司	環境理工学部長	難 波 徳 郎
副学長（国際担当）	木 村 邦 生	農学部長	木 村 吉 伸
大学院教育学研究科長・教育学部長	三 村 由香里	資源植物科学研究所長	坂 本 亘
大学院社会文化科学研究科長	釣 雅 雄	惑星物質研究所長	薛 献 宇
大学院自然科学研究科長	富 田 栄 二	異分野基礎科学研究所長	久保園 芳 博
大学院保健学研究科長	中 塚 幹 也	附属図書館長	今 津 勝 紀
大学院環境生命科学研究科長	舟 橋 弘 晃	グローバル・ディスカバリー・プログラムディレクター	中 谷 文 美
大学院医歯薬学総合研究科長	大 塚 愛 二		

教育研究組織等

大学院

令和元年5月1日現在

研究科	区分	専攻		
教育学研究科	修士課程	教育科学専攻		
社会文化科学研究科	博士前期課程	国際社会専攻	日本・アジア文化専攻	人間社会文化専攻
		法政理論専攻	経済理論・政策専攻	組織経営専攻
	博士後期課程	社会文化学専攻		
自然科学研究科	博士前期課程	数理物理科学専攻	分子科学専攻	生物科学専攻
		地球科学専攻	機械システム工学専攻	電子情報システム工学専攻
		応用化学専攻		
	博士課程	地球惑星物質科学専攻		
	博士後期課程	数理物理科学専攻	地球生命物質科学専攻	学際基礎科学専攻
		産業創成工学専攻	応用化学専攻	
保健学研究科	博士前期課程	保健学専攻		
	博士後期課程	保健学専攻		
環境生命科学研究科	博士前期課程	社会基盤環境学専攻	生命環境学専攻	資源循環学専攻
		生物資源科学専攻	生物生産科学専攻	
	博士後期課程	環境科学専攻	農生命科学専攻	
医歯薬学総合研究科	修士課程	医歯科学専攻		
	博士前期課程	薬科学専攻		
	博士課程	生体制御科学専攻	病態制御科学専攻	機能再生・再建科学専攻
		社会環境生命科学専攻		
ヘルスシステム統合科学研究科	博士前期課程	ヘルスシステム統合科学専攻		
	博士後期課程	ヘルスシステム統合科学専攻		
教育学研究科	専門職学位課程	教職実践専攻		
法務研究科	専門職学位課程	法務専攻		
兵庫教育大学大学院 連合学校教育学研究科	後期3年のみの博士課程	学校教育実践学専攻	先端課題実践開発専攻	教科教育実践学専攻

学 部

令和元年5月1日現在

学科・課程		学科目		
文学部 (1学科 5学科目)	人文学科	哲学芸術学	行動科学	歴史学
		アジア言語文化論	欧米言語文化論	
教育学部 (2課程 17学科目)	学校教育教員養成課程	国語教育	社会科教育	数学教育
		理科教育	音楽教育	美術教育
		保健体育	家政教育	技術教育
		英語教育	特別支援教育	幼児教育
		教育学	教育心理学	地域教育
	養護教諭養成課程	養護教育	地域教育	
法学部 (1学科 4学科目)	法学科 (含夜間主コース)	公共法	市民法	比較国際法
		現代政治学		
経済学部 (1学科 4学科目)	経済学科 (含夜間主コース)	経済理論・統計	比較経済	政策科学
		経営・会計		
理学部 (5学科 5学科目)	数学科	数学		
	物理学科	物理学		
	化学科	化学		
	生物学科	生物学		
	地球科学科	地球科学		
医学部 (2学科 20学科目)	医学科	人体構造機能学	循環器病態学	麻酔・救急医学
		脳神経制御学	器官病態学	母性・小児医学
		腫瘍制御医学	生体情報医学	感覚・運動機能病態学
		法医生命倫理学	感染防御医学	社会環境健康医学
	保健学科	基礎看護学	成人看護学	母子看護学
		地域看護学	医用放射線科学	放射線診療技術学
		病態検査学	機能解析学	
歯学部 (1学科 5学科目)	歯学科	口腔基礎常態学	口腔基礎病態学	口腔病態外科学
		口腔機能再建学	予防・発育加齢歯科学	
薬学部 (2学科 2学科目)	薬学科	医療薬学		
	創薬科学科	医薬品開発科学		
工学部 (4学科 4学科目)	機械システム系学科	機械システム系学		
	電気通信系学科	電気通信系学		
	情報系学科	情報系学		
	化学生命系学科	化学生命系学		
環境理工学部 (4学科 4学科目)	環境数理学科	環境数理学		
	環境デザイン工学科	環境デザイン工学		
	環境管理工学科	環境管理工学		
	環境物質工学科	環境物質工学		
農学部 (1学科 4学科目)	総合農業科学科	農芸化学	応用植物科学	応用動物科学
		環境生態学		

マッチングプログラムコース

学生一人一人の個性や能力を一層伸ばすことを目指して、既成のカリキュラムの枠組みを越えて学部・学科を横断的に、主体的に履修プログラム（課題提案型履修プログラム）を作ることにより、各自の学習目的を達成するとともに明確なキャリアデザイン能力を持つ学生を育成するコースです。所定の単位を修得した学生は、卒業認定に基づき「学士（学術）」の学位が授与されます。

グローバル・ディスカバリー・プログラム

2017年開設の英語を共通言語とする学士課程プログラムで、世界各地や国内から集まった多様な背景と経験を持つ学生たちが協力し、共に学びます。本プログラムでは、アカデミック・アドバイザーの丁寧な指導の下に、現在の関心や将来の目標にマッチした、既存の学部・学科の枠にとらわれない幅広い科目履修を通じて専門的知識を身につけ、グローバル課題解決に向けて行動できる人材を育てます。所定の単位を修得した学生は、卒業認定に基づき「学士（学術）」の学位が授与されます。

専攻科・別科

- 特別支援教育特別専攻科
- 養護教諭特別別科

研究所

研究所名	内 容
資源植物科学研究所	大正3年、大原孫三郎氏によって農業の研究とその応用による農事の改良を目的として設立された財団法人大原農業研究所を前身としており、昭和27年に岡山大学に移管された。翌年には、農業生物研究所（附置研究所）となり、昭和63年資源生物科学研究所、平成22年4月からは共同利用・共同研究拠点として資源植物科学研究所と改組した。植物ストレス科学共同研究コア、次世代作物共同研究コアと大麦・野生植物資源研究センターのもと、5つの研究ユニット（大気環境ストレス、土壌環境ストレス、環境生物ストレス、遺伝資源、ゲノム育種）を置き、国内外の研究者と連携し、劣悪環境でも生育可能な作物の創出に向けた基礎研究を推進している。
惑星物質研究所	平成28年4月地球物質科学研究センターを改組し設置された。当研究所の歴史は昭和26年に設置された岡山大学温泉研究所より始まり、4度の改組を経て現在に至っている。この間、地球化学そして実験地球物理学的手法に基づき地球および惑星物質科学研究に一貫して取り組み、先進的な研究活動が国際的にも高く評価されている。当研究所には、惑星物質基礎科学部門、惑星システム科学部門、生命・流体物質科学部門の3つの研究部門が設置される。地球を含む惑星物質の起源・進化・ダイナミクスの探求に加え、総合的かつ普遍的な物質科学のアプローチを用いた、既存の学問分野にとらわれない先進的研究の開拓にも積極的に取り組んでいる。
異分野基礎科学研究所	物理学と基礎生命科学の研究の発展と、それを融合した新しい研究分野の創出を目指して、平成28年4月に設立された。「量子宇宙」「光合成・構造生物学」「超伝導・機能材料」の3つの研究コアがあり、具体的な研究テーマは、レーザー分光学を使ったニュートリノ物理学の研究、光合成の構造と機能の解明ならびに人工的な光合成システムの創製、高温超伝導材料や次世代エレクトロニクスに向けた新機能材料の開発、理論化学的アプローチによるエネルギー貯蔵物質の研究である。また、これらの研究を融合発展させて、エネルギー問題解決につながる新材料やデバイスの創製を進めることも念頭に入れている。

岡山大学病院

平成31年4月1日現在

区 分	診療科名		
医 科	総合内科・総合診療科 呼吸器・アレルギー内科 循環器内科 消化管外科 乳腺・内分泌外科 小児外科 形成外科 耳鼻咽喉科 麻酔科蘇生科 小児神経科 小児放射線科 救命救急科 臨床遺伝子診療科	消化器内科 腎臓・糖尿病・内分泌内科 脳神経内科 肝・胆・膵外科 泌尿器科 小児心臓血管外科 皮膚科 精神科神経科 小児科 小児血液・腫瘍科 産科婦人科 病理診断科	血液・腫瘍内科 リウマチ・膠原病内科 感染症内科 呼吸器外科 心臓血管外科 整形外科 眼科 脳神経外科 小児循環器科 小児麻酔科 放射線科 緩和支援医療科
歯 科	総合歯科 クラウンブリッジ補綴科 口腔外科（病態系） 矯正歯科	むし歯科 咬合・義歯補綴科 歯科放射線・口腔診断科 予防歯科	歯周科 口腔外科（再建系） 歯科麻酔科 小児歯科

全学センター

センター名	事業内容
評価センター	各種の評価を通じて、本学の教育研究活動等の質的な保証と改善を図り、社会への説明責任を果たすことを目的としている。各種自己評価や第三者評価に関する企画立案や総合調整、評価結果の分析と改善策の提言を行う。
保健管理センター	学生及び教職員の健康の保持、増進を図り、健全な生活を送ることができるように設けられている。当センターでは、定期的健康診断を実施し、病気の予防、早期発見に努め、また、心身に関する健康相談及び指導が、各科の専門医、保健師、臨床心理士、栄養士により行われている。鹿田地区には、鹿田室が設置されている。
環境管理センター	本学の環境マネジメントの充実を図る目的で設置されている。環境管理業務（排水監視、有害廃棄物の適正管理及び処分、廃棄物の発生抑制、環境マネジメントの推進）、安全管理業務（職場や実験室の化学物質の適正管理の推進）とその教育・研究を行っている。
情報統括センター	教育研究に必要な ICT 環境の整備と管理運用を統括的に推進することを目的としている。具体的には情報戦略の支援、高度な ICT 環境の整備、情報セキュリティ・情報倫理遵守の推進、情報教育の企画・運営及び実施である。
グローバル人材育成院	実践的な英語力とコミュニケーション力を身につけるとともに、異文化と日本文化への理解を深めてアイデンティティの形成を図り、グローバルに活躍できる中核的人材の育成を目指して、平成25年4月に設置され、平成31年4月の改組に伴い、本学の国際化に向けた取組の企画・実施等を併せて担うこととなった。各学部及び関係する全学センターとの連携の下、短期留学プログラム（EP0K）・海外語学研修による学生の海外派遣や、本学に入学予定の外国人留学生の渡日支援及び修学支援のための各種情報やサービス提供を担うほか、グローバル人材育成特別コースの運営を行う。また、グローバル・ディスカバリー・プログラムの教員は当院の所属となっている。
地域総合研究センター	大学の社会貢献活動の強化を目的として、平成23年11月に設置された。大学・地域間の各種政策に関するコーディネート及びシンクタンク機能を持ち、組織的な社会貢献・地域連携を推進している。教員・地域の方々と対話を通して学生に実践力を身につけさせるため、まちなかキャンパス、グローバル人材育成をサポートする様々なプロジェクトを実施している。また、平成26年度からは、新たに実践型社会連携教育プログラムの構築に取り組み、実践知教育を導入・展開している。
教師教育開発センター	平成22年4月に設置され、全学教職コア・カリキュラムの研究開発、教職指導（教職支援・相談業務）、県下の協力校、教育学部附属学校園、教育委員会等、関連諸機関との連携協力事業、理数系教員養成事業等を実施している。
中性子医療研究センター	薬学と素粒子物理学という異分野融合による最新のがん放射線治療法である「ホウ素中性子捕捉療法（BNCT）」の研究・教育に取り組むセンターとして平成29年4月に設置された。本学が開発した画期的なホウ素薬剤と名古屋大学の中性子発生装置技術に加え、国際原子力機関（IAEA）や国内外一線級のBNCT研究者との連携により、岡山発の革新的で全世界に輸出可能ながん治療法の確立と、集学的治療における位置づけを明確にした中性子医療という新規分野の拠点形成を目指している。
自然生命科学研究支援センター	生命科学をはじめとする自然科学領域の教育・研究の高度化、学際領域の融合、先端研究の推進、社会との連携等の進展などに対応した支援体制を強化し、本学における教育研究の一層の進展に資することを目的としている。研究領域を超えて長期的視点から一元的・有機的な運営を図るとともに、多面的な教育研究支援業務を行う。
生殖補助医療技術教育研究センター	生殖補助医療に不可欠な生殖補助医療技術者（胚培養士）を志す学生のキャリア養成教育や現役胚培養士のリカレント教育、およびそれに関係する領域の基礎・応用研究を行う。諸外国の教育研究機関と連携して世界的生殖研究拠点形成を目指している。
埋蔵文化財調査研究センター	学内遺跡の保護と調査研究を目的とし、建物の建設に伴う発掘調査等を通じて、縄文時代から近代にいたる遺跡の実態解明に取り組む。発掘調査報告書の刊行や、展示会の開催、および出土資料を用いた教育活動などを行っている。

附属学校

■ 幼稚園（3年保育） ■ 小学校 ■ 中学校 ■ 特別支援学校（小学部、中学部、高等部）

附属図書館

附属図書館は、県内最多の蔵書を有する図書館で、中央図書館、鹿田分館、資源植物科学研究所分館から構成されており、全体で約203万冊の図書を所蔵している。図書館のサービスは大学の枠を超え、地域や他の教育機関等に広く展開している。ホームページを基軸とした電子図書館サービスは学内出版物や約73,000タイトルの電子ジャーナル、31種のデータベースの提供、岡山大学の学術研究成果の発信など機能強化が進んでいる。

蔵書数

令和元年5月1日現在

区 分	和漢書	洋書	計
中央図書館	1,147,047	469,650	1,616,697
鹿田分館	117,661	106,002	223,663
資源植物科学研究所分館	96,086	92,407	188,493
惑星物質研究所	581	4,514	5,095
合計	1,361,375	672,573	2,033,948

池田家文庫

附属図書館中央図書館では、旧岡山藩主池田家（1632-1871）が襲蔵してきた記録・古文書・絵図・和書・漢籍を約10万点所蔵している。池田家文庫は、江戸時代幕藩制度の研究上、貴重な一次資料として広く知られている。古文書類はマイクロフィルム化（17分野、2,486リール）され、館内で閲覧利用することができる。絵図類はデジタル化がほぼ終了し、インターネットでも一部を公開している。また、毎年岡山シティミュージアムと共催で池田家文庫絵図展を開催し、地域の文化力向上に貢献している。



備前国図（慶長年間）

共同利用・共同研究拠点

■ 資源植物科学研究所

植物遺伝資源・ストレス科学研究拠点

平成21年に文部科学省より「植物遺伝資源・ストレス科学研究」の共同利用・共同研究拠点に認定され、平成22年度より共同研究を公募し、その遂行により我が国の当該研究の拡大と推進を補佐している。所内に保有する最先端共通研究機器の有効利用のため、大学内外の研究者との共同研究において簡便に利用できる体制を整えており、敷地内に宿泊施設を設置し、共同研究の推進を支援する環境も充実している。拠点認定以来すでに様々な共同研究の成果がもたらされている。

■ 惑星物質研究所

地球・惑星物質科学研究拠点

地球・惑星物質科学研究拠点として、前身の研究センターより引き続き共同利用・共同研究拠点の役割を担う。先進的な惑星物質科学研究の発展のため、自由闊達な学問の実践により社会的・文化的発展モデルとなる研究拠点を確立し学術コミュニティの発展に寄与することがそのミッションとなる。加えて拠点の国際的共同研究機能をさらに向上させ、国際的な研究交流を主導することによって新たな研究の方向性を切り拓く。

教育関係共同利用拠点

■ 理学部附属臨海実験所

多様な生物を用いたグローバル先端実験教育のための共同利用拠点

中四国・九州の臨海実験所の中心として、平成23年4月、関連施設では初めて文部科学省により認定を受けた。平成28年4月からは、生体制御学を主とした高度な実験生物学の研究や実習の機会を国内外に提供する全国的な拠点として、再認定された。全国臨海臨湖実験所長会議議長校として、大学間連携のリード等も高く評価されている。

機構

センター名	事業内容
全学教育・学生支援機構	本学の理念・教育目標を達成するため、1) 全学の教育システムの整備、2) 入学者選抜・高大接続、3) 教養教育・国際教育その他全学共通教育、4) 学修支援、5) 学生の生活支援、6) キャリア支援・就職支援等を推進するとともに、調査研究、企画、開発及び提言を行っている。 「高等教育開発推進センター」「基幹教育センター」「高大接続・学生支援センター」の3つのセンターにより構成され、学部・研究科等及び他の全学組織と連携しながら、統合的に活動している。
研究推進機構	本学の理念・研究目標を達成するため、研究及び産学官連携の推進を企画・立案、調整、実施し、また、研究不正の防止等研究コンプライアンスを図ることによって、本学における広範な領域の学術研究を推進し、重点的に研究拠点の形成を進め、知的資産の形成を促進するとともに、知的財産を組織的に管理・活用・保護し、研究成果の社会還元を促進し、併せて本学の財政基盤の向上に資する役割を担っている。
安全衛生推進機構	本学の安全衛生方針に基づき、本学構成員等の安全と健康の確保を図り、安全衛生に関する本学の社会的責任を果たすため、保健管理センター及び環境管理センター等の全学センターと連携を図り、所要の調査・研究を行い、安全衛生に関する本学の施策・方針を企画・立案するとともに、指導・助言を行っている。

教育研究プログラム戦略本部

中国・四国地域の中核大学としての責務を果たすとともに、産業・社会情勢などの変化及び学問領域の新たな発展に対応し、学部・研究科等の枠を超えて教育の高度化及び研究の活性化を戦略的に推進することを目的として平成20年6月に設置された。教育プログラム部門、プロジェクト研究部門、環境整備部門で構成されている。特定の教育研究プログラムの実施を行うための推進拠点を置いている。

センター名	事業内容
異分野融合先端研究コア (RCIS)	平成20～24年度に文部科学省「テニュアトラック普及・定着事業(若手研究者の自立的な研究環境整備促進)」の支援を受け、自立した優秀な若手研究者を育成する場として設置され、のべ13名のテニュアトラック教員を育成してきた。令和元年度は RCIS に配属されているテニュア准教授4名(うち2名は兼任)が異分野を融合した新領域研究の創成・発展に向け、自立的環境下で活発な研究・教育活動を行っている。
ナノバイオ標的医療イノベーションセンター (ICONT)	文部科学省・平成18年度科学技術振興調整費「ナノバイオ標的医療の融合的創出拠点の形成」事業の中核拠点として、平成18年7月に設置され、産学連携学内特区に設定された。設立以来、協働企業※とともに、高齢化日本の喫緊の課題である「がん医療」を主たるターゲット領域とし、現在は、難治固形がんに対する革新的REIC 遺伝子医薬の臨床開発を最重要課題に据えている。具体的には、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) による産学共同実用化開発事業 (NexTEP) の枠組みの下に、杏林製薬株式会社の参画を得て悪性胸膜中皮腫を対象とした臨床第Ⅱ相試験を実施中である。また、大学独自の取り組みとして、肝がんを対象とした医師主導臨床第Ⅰ/Ⅱb相試験を実施中、本年度からは、国立研究開発法人日本医療研究開発機構による「橋渡し研究戦略的推進プログラム」の支援を受けて、脳腫瘍を対象とした医師主導臨床第Ⅰ/Ⅱa 相試験を開始する。 ※現在の協働企業: 杏林製薬株式会社/ 桃太郎源株式会社/ イーピーエス株式会社
インド感染症共同研究センター	平成19年に文部科学省「新興・再興感染症研究拠点形成プログラム」の実施のために、インド国立コレラおよび腸管感染症研究所内に設置された。このプログラムは平成27年度から日本医療研究開発機構「感染症研究国際展開戦略プログラム」(英名: Japan Initiative for Global Research Network on Infectious Diseases)として継続されている。研究センターには、岡山大学から2名の研究者(教授、准教授)と1名の事務職員が常駐者として派遣され、腸管感染症を引き起こす微生物の基礎ならびにその応用研究を活発に展開している。
エラスムス・プラス	「エラスムス・プラス(2014～2020年)」は、その前身であるEU域内留学支援の「エラスムス(Erasmus)」や、域外との人的交流支援の「エラスムス・ムンドゥス(Erasmus Mundus 2009～2013年)」の後継となる教育訓練・青少年・スポーツを対象とする統合的な資金助成事業である。エラスムス・プラスで日本が参加可能な事業は主に3つのアクション、修士課程のジョイントディグリー、短期交換留学(ICM)とジャン・モネ・プログラムがあり、岡山大学では、前「エラスムス・ムンドゥス」事業で参加した2つの教育・研究交流プログラムを含め、次のプログラムが採択されている。 BEAM(Build on Euro-Asian Mobility)プログラム(実施期間2010～2014年) EASED(Euro-Asian Sustainable Energy Development)プログラム(実施期間2013～2017年) ICM(International Credit Mobility)プログラム with Alistotle University of Thessaloniki(ギリシャ)(実施期間2015年～) with Trakya University(トルコ)(実施期間2016年～) with Sorbonne University(フランス)(実施期間2017年～) Joint Degree FAME+ EMJMDプロジェクト
グローバル最先端異分野融合研究機構	文部科学省研究大学強化促進事業の支援を受ける本学において、研究戦略や知財管理等を担う研究マネジメント人材群の確保・活用や集中的な研究環境改革を組み合わせた研究力強化に取り組み、本学が強みを持つ研究分野の研究や異分野融合研究を推進することで、研究の量・質を世界レベルまで高めて本学を日本の研究活動の牽引大学とすることを目的とする。

ダイバーシティ推進本部

岡山大学における性別、国籍、年齢、障がい等に関する構成員の多様性を高め、ダイバーシティ文化の醸成に努めることを目的として、平成21年1月に設置された。

男女共同参画室、次世代育成支援室、障がい者雇用推進室、高齢者雇用安定室の4つの室から構成されており、これらの室を中心に、様々な施策を企画・実施し、長期的視野で組織の持続的発展を図り、全ての職員の仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進を目指している。

SDGs推進本部

本学のSDGs達成の観点を取り入れた大学運営を進めるとともに、地域及び国際社会とのより一體的なパートナーシップ構築のための取り組みを推進することを目的として、平成30年2月に設置した。

学長を本部長とし、業務に関わる事項を審議する「運営会議」と推進本部から諮問された事項を検討し企画・立案するための「企画会議」を設けて、本学のSDGs達成に貢献する活動を推進している。

国際学都おかやま創生本部

本学が担っている地域のシンクタンク機能を強化することを目的として、平成30年度に設置された。

地域連携のプラットフォーム機能に、産官学連携におけるシーズとニーズのマッチング機能を有機的に結合することで、地域の特色・ニーズを踏まえた、分野融合による新たなイノベーション創出を地域とともに目指していく。

岡山大学オープンイノベーション機構

企業の事業戦略に関わる競争領域の大型共同研究を集中的にマネジメントする中核組織として、令和元年6月に設置した。大型共同研究の共創・推進、本学における財政基盤の強化、研究力の強化、人材育成、大学改革等の加速に資するとともに、社会に対して新たな価値を提供することを目的とし、「組織」対「組織」の大型産学官連携に関する業務を行う。

海外拠点

事務所名	事業内容
岡山大学 ベトナム事務所	当事務所は本学初の海外事務所であり、学術・教育交流の推進、本学の情報発信並びに国際的に活躍できる本学教職員の養成を行う目的で設置された。平成19年4月から現地スタッフ1人を常駐させ、広くベトナム全域を対象に本学の広報活動や優秀な留学生の確保に向けた諸活動を行っている。
岡山大学 中国事務所 (長春・瀋陽・上海)	平成19年8月に長春事務所(東北師範大学内)及び瀋陽事務所(中国医科大学内)を、平成27年10月に上海事務所(上海理工大学内)を設置した。中国の重点大学との共同学位プログラムの運営、研究者との情報交換といった学生・学術交流を推進するほか、本学への留学を希望する中国人学生への助言・情報提供、本学のPR活動、国際同窓会中国支部の活動支援等を行っている。
岡山大学 ロンドン事務所	平成27年4月に設置された当事務所は、本学の広報活動や英国の大学・研究機関等との連携強化活動を通じて、学生及び教職員間のグローバル化推進を目指す。本学の英国における窓口としての役割を担い、本学の知名度向上に向けて積極的な情報発信を行っている。
岡山大学 日本留学情報 センター (OJEIC、 ミャンマー) ヤンゴン事務所・ マンダレー事務所	平成26年10月に文部科学省委託事業「留学コーディネーター配置事業(ミャンマー)」(平成30年4月より日本留学海外拠点連携推進事業(東南アジア))に採択され、ミャンマーからの留学生受け入れを促進するため、平成27年2月にヤンゴン市内に「岡山大学日本留学情報センター(OJEIC)」を設置した(令和元年5月、国際交流基金ヤンゴン日本文化センター内に移転)。同年3月より、様々な機関の垣根を越え、オールジャパンで日本留学を促進するための司令塔となる留学コーディネーターを常駐させている。また、平成30年8月にはミャンマー第2の都市マンダレーにも「OJEICマンダレー事務所」を開設した。
国立六大学 長春事務所	平成26年11月に岡山大学長春事務所を国立六大学(千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学、熊本大学)の事務所として共用を開始した。国立六大学の情報発信や共同で開催する事業等に活用している。
国立六大学 バンコク事務所	平成29年8月に国立六大学共同事務所として、タイ・バンコク市内に開設した。国立六大学とタイの大学との教育・研究交流を基盤としたASEAN地域での連携促進等のため活用している。
海外の研究拠点・事務室等	インド感染症共同研究センター 平成19年にインド国立コレラおよび腸管感染症研究所(NICED)内に設置された。 研究センターには、岡山大学から2名の研究者(教授、准教授)が常駐者として派遣され、NICEDの研究者と協同して、腸管感染症を予防するワクチンの開発研究、腸管感染症原因菌の疫学研究などを活発に展開している。
環境生命科学 研究科海外事務室	当事務室は、2017年度から実施している文部科学省「国際異分野共同による教育研究を核とする国際社会人共同博士号取得拠点の形成ー日本版大学院高等教育システムの海外展開ー」の事業の中で、東南アジアでの事業展開拠点として2018年3月にベトナム・ホーチミン市内に設置した。日本人コーディネーター1名を配置し、留学希望者の発掘と情報提供、留学相談等を行い、優秀な留学生の確保に向けた諸活動を行っている。

統 計

役職員数

令和元年5月1日現在

区 分	学長	理事	理事（非常勤）	監事	監事（非常勤）	計
役 員	1	5	1	1	1	9

区 分	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	教 諭	計	事務・ 技術職員	合 計
事務局	[1]	1					1 [1]	223 [62] (1)	224 [63] (1)
大学院教育学研究科	59 [1]	29 [2]	9	[2]			97 [5]	19 [5]	116 [10]
大学院社会文化科学研究科	54	43 [1]	9 [1]	1 [3]	1		108 [5]	23	131 [5]
附属東アジア国際協力・ 教育研究センター								[1]	[1]
附属文明動態学研究センター									
大学院自然科学研究科	64	56	12	37 [4]	1		170 [4]	52 [5]	222 [9]
大学院保健学研究科	16	10	3	17 [1]	1		47 [1]		47 [1]
大学院環境生命科学研究科	50	59	1	13 [4]	1		124 [4]	[1]	124 [5]
附属低炭素・ 廃棄物循環研究センター									
大学院医歯薬学総合研究科	74 [10]	58 [12]	13 [8]	109 [32]	2		256 [62]	52 [87] (1)	308 [149] (1)
附属薬用植物園									
附属医療教育センター	1	1		3			5	1	6
大学院ヘルスシステム 統合科学研究科	19	10 [1]	4 [1]	10 [5]	1		44 [7]	[4]	44 [11]
大学院法務研究科	13	3		1			17		17
附属弁護士研修センター									
文学部									
教育学部									
附属学校						97 [3]	97 [3]	8	105 [3]
法学部									
経済学部									
理学部								5	5
附属臨海実験所				[2]			[2]	1 [1]	1 [3]
附属界面科学研究施設									
医学部								19 [2]	19 [2]
歯学部								1	1
薬学部								2 (1)	2 (1)

区 分	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	教 諭	計	事務・ 技術職員	合 計
工学部				[1]			[1]	17 [1]	17 [2]
環境理工学部								3	3
農学部									
附属山陽圏フィールド 科学センター								6 [1]	6 [1]
資源植物科学研究所	6	11		5 [4]			22 [4]	14	36 [4]
附属大麦・ 野生植物資源研究センター	3	4		2			9	2	11
惑星物質研究所	7 [1]	5		2 [5]	[1]		14 [7]	5 [6] (1)	19 [13] (1)
異分野基礎科学研究所	12 [5]	12 [5]	[6]	4 [12]			28 [28]	[5]	28 [33]
岡山大学病院	20 [2]	18 [1]	52 [1]	106 [69]			196 [73]	782 [984] (8)	978 [1,057] (8)
評価センター									
保健管理センター	2		1	2 [1]			5 [1]	5	10 [1]
環境管理センター		1		1			2		2
情報統括センター	1	2					3	9	12
グローバル人材育成院	7 [1]	10 [1]	[4]				17 [6]	[1]	17 [7]
地域総合研究センター	2	[1]		1			3 [1]	[1]	3 [2]
教師教育開発センター	2	1	1				4		4
中性子医療研究センター	1 [2]	2 [1]					3 [3]	[2]	3 [5]
自然生命科学 研究支援センター	3	1		3 [2]	1		8 [2]	7 [8]	15 [10]
生殖補助医療技術教育 研究センター		1					1		1
埋蔵文化財調査研究センター	1			4			5		5
附属図書館								22 [2]	22 [2]
全学教育・学生支援機構	15 [1]	22	1 [4]	2 [1]			40 [6]	[2]	40 [8]
研究推進機構	1 [2]	2 [1]					3 [3]	[9]	3 [12]
安全衛生推進機構	1						1		1
戦略的プログラム支援ユニット									
異分野融合先端研究コア		2 [1]		[4]			2 [5]		2 [5]
合計	434 [26]	364 [27]	106 [25]	323 [152]	8 [1]	97 [3]	1,332 [234]	1,278 [1,190] (12)	2,610 [1,424] (12)

注 1 : [] は契約職員（フルタイム）、() は再雇用職員（フルタイム）でともに外数。

注 2 : 岡山大学東京オフィス、法人監査室は事務局に含む。

学生数

大学院

令和元年5月1日現在

研究科 区 分	専 攻	入学定員	収容定員	現 員					
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	計
教育学研究科 (修士課程)	教育科学専攻	37	74	45	43				88
	発達支援学専攻				3				3
	教科教育学専攻				11				11
	小計	37	74	45	57				102
社会文化科学研究科 (博士前期課程)	国際社会専攻	14	28	10	3				13
	日本・アジア文化専攻	12	24	11	10				21
	人間社会文化専攻	30	60	21	14				35
	法政理論専攻	15	30	3	2				5
	経済理論・政策専攻	6	12	6	2				8
	組織経営専攻	11	22	12	14				26
	社会文化基礎学専攻				7				7
	比較社会文化学専攻			1	20				21
	公共政策科学専攻				7				7
	小計	88	176	64	79				143
自然科学研究科 (博士前期課程)	数理物理科学専攻	38	76	26	34				60
	分子科学専攻	24	48	27	21				48
	生物科学専攻	22	44	25	21				46
	地球科学専攻	16	32	14	17				31
	機械システム工学専攻	98	196	116	122				238
	電子情報システム工学専攻	90	180	110	95				205
	応用化学専攻	50	100	51	57				108
	生命医用工学専攻				3				3
	小計	338	676	369	370				739
保健学研究科 (博士前期課程)	保健学専攻	26	52	28	26				54
	小計	26	52	28	26				54
環境生命科学研究科 (博士前期課程)	社会基盤環境学専攻	30	60	20	22				42
	生命環境学専攻	23	46	18	24				42
	資源循環学専攻	43	86	38	41				79
	生物資源科学専攻	25	50	17	27				44
	生物生産科学専攻	38	76	26	41				67
	小計	159	318	119	155				274
医歯薬学総合研究科 (修士課程)	医歯科学専攻	20	40	24	25				49
	小計	20	40	24	25				49
医歯薬学総合研究科 (博士前期課程)	薬科学専攻	37	74	36	35				71
	小計	37	74	36	35				71
ヘルスシステム統合科学研究科 (博士前期課程)	ヘルスシステム統合科学専攻	80	160	75	84				159
	小計	80	160	75	84				159
合計（修士課程・博士前期課程）		785	1,570	760	831				1,591

研究科 区 分	専 攻	入学定員	収容定員	現 員					
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	計
社会文化科学研究科 (博士後期課程)	社会文化学専攻	12	36	11	11	29			51
	小計	12	36	11	11	29			51
自然科学研究科 (博士課程)	地球惑星物質科学専攻	4	20	2	3	4	1		10
	小計	4	20	2	3	4	1		10
自然科学研究科 (博士後期課程)	数理物理学専攻	6	22	5	5	2			12
	地球生命物質科学専攻	11	39	5	12	15			32
	学際基礎科学専攻	10	20	9	5				14
	産業創成工学専攻	18	57	19	18	21			58
	応用化学専攻	5	17	2	5	6			13
	化学生命工学専攻					4			4
	生命医用工学専攻		10		5	14			19
	小計	50	165	40	50	62			152
保健学研究科 (博士後期課程)	保健学専攻	10	30	9	11	44			64
	小計	10	30	9	11	44			64
環境生命科学研究科 (博士後期課程)	環境科学専攻	22	66	9	17	29			55
	農生命科学専攻	20	60	24	26	20			70
	小計	42	126	33	43	49			125
医歯薬学総合研究科 (博士課程)	生体制御科学専攻	25	100	32	35	35	66		168
	病態制御科学専攻	62	248	69	72	68	171		380
	機能再生・再建科学専攻	28	112	25	27	33	57		142
	社会環境生命科学専攻	13	52	11	18	9	28		66
	小計	128	512	137	152	145	322		756
医歯薬学総合研究科 (博士後期課程)	薬科学専攻	9	28	4	6	5			15
	小計	9	28	4	6	5			15
ヘルスシステム統合科学研究科 (博士後期課程)	ヘルスシステム統合科学専攻	16	32	17	1				18
	小計	16	32	17	1				18
合計（博士課程・博士後期課程）		271	949	253	277	338	323		1,191
教育学研究科 (専門職学位課程)	教職実践専攻	45	90	31	41				72
法務研究科 (専門職学位課程)	法務専攻	24	72	13	17	15			45
合計（専門職学位課程）		69	162	44	58	15			117
総 計		1,125	2,681	1,057	1,166	353	323		2,899
兵庫教育大学大学院 連合学校教育学研究科 (後期3年のみの 博士課程)	学校教育実践学専攻	10	30	3		5			8
	先端課題実践開発専攻	5	15	1		3			4
	教科教育実践学専攻	17	51	3	3	14			20
	小計	32	96	7	3	22			32

※兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科欄の数は構成大学である岡山大学（指導教員）に属する学生の学生数である。

学部

令和元年5月1日現在

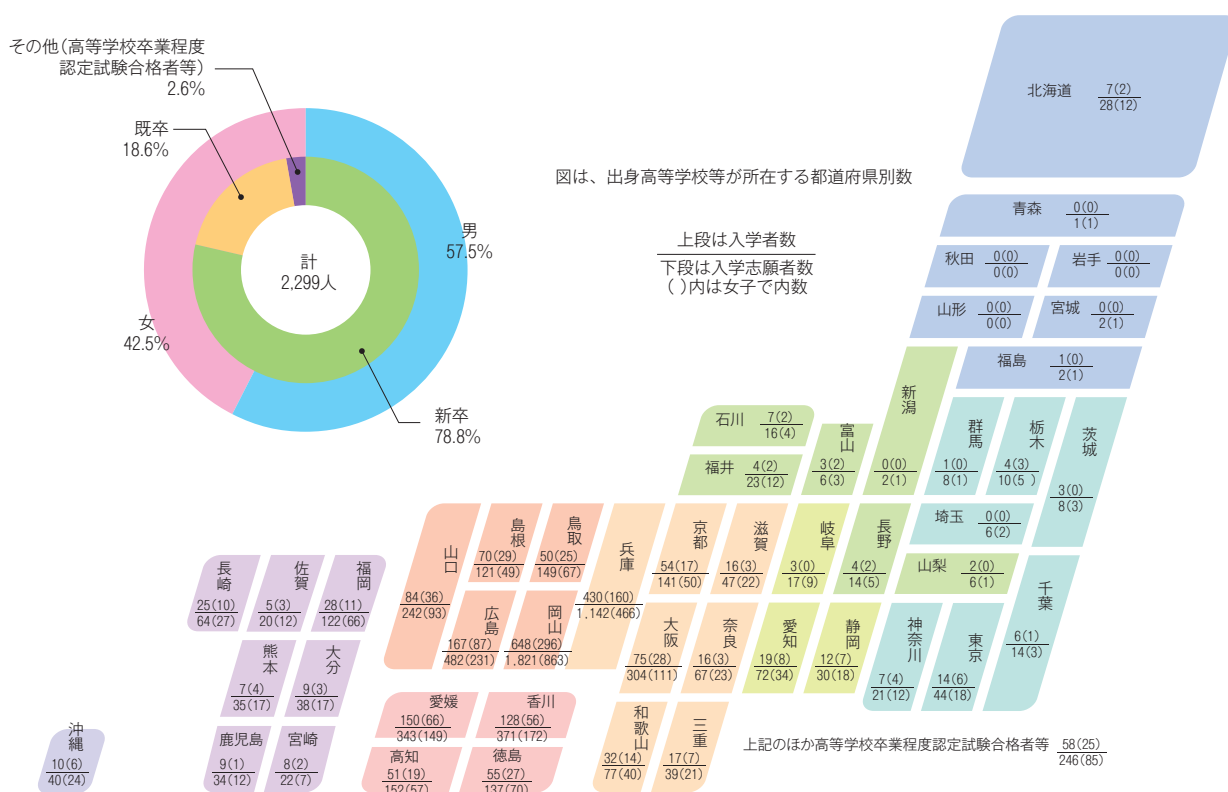
学 部	学科・課程	入学定員	収容定員	現 員						
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
文学部	人文学科	175	700	181	171	187	223			762
	小計	175	700	181	171	187	223			762
教育学部	学校教育教員養成課程	250	1,000	253	245	264	287			1,049
	養護教諭養成課程	30	120	30	31	28	32			121
	小計	280	1,120	283	276	292	319			1,170
法学部	法学科（昼間コース）	205	820	211	209	206	262			888
	法学科（夜間主コース）	20	80	23	20	21	25			89
	小計	225	900	234	229	227	287			977
経済学部	経済学科（昼間コース）	205	820	209	210	213	254			886
	経済学科（夜間主コース）	40	160	44	43	44	57			188
	小計	245	980	253	253	257	311			1,074
理学部	数学科	20	80	20	18	29	26			93
	物理学科	35	140	37	39	48	37			161
	化学科	30	120	32	32	49	35			148
	生物学科	30	120	31	34	40	39			144
	地球科学科	25	100	27	26	33	32			118
	小計	140 <20>	560 <40>	147	149	199	169			664
医学部	医学科	112 [5]	684 [25]	114	123	128	126	110	122	723
	保健学科	160 <20>	640 <40>	156	157	157	183			653
	小計	272 [5] <20>	1,324 [25] <40>	270	280	285	309	110	122	1,376
歯学部	歯学科	48 [5]	288 [20]	48	54	54	52	56	48	312
	小計	48 [5]	288 [20]	48	54	54	52	56	48	312
薬学部	薬学科	40	240	41	42	41	41	42	38	245
	創薬科学科	40	160	40	47	38	39			164
	小計	80	400	81	89	79	80	42	38	409
工学部	機械システム系学科	160	640	167	179	188	181			715
	電気通信系学科	100	400	103	114	125	121			463
	情報系学科	60	240	59	74	60	71			264
	化学生命系学科	140	560	149	153	151	152			605
	小計	460 <30>	1,840 <60>	478	520	524	525			2,047
環境理工学部	環境数理学科	20	80	20	19	28	20			87
	環境デザイン工学科	50	200	53	51	60	54			218
	環境管理工学科	40	160	42	44	43	41			170
	環境物質工学科	40	160	42	41	56	39			178
	小計	150	600	157	155	187	154			653
農学部	総合農業科学科	120	480	123	125	136	124			508
	小計	120	480	123	125	136	124			508
マッチングプログラムコース		-	-			23	22			45
	小計	-	-			23	22			45
グローバル・ディスカバリー・プログラム		-	-	57	59					116
	小計	-	-	57	59					116
	合計	2,195 [10] <70>	9,192 [45] <140>	2,312	2,360	2,450	2,575	208	208	10,113

※ [] は第2年次編入学定員で外数。< > は第3年次編入学定員で外数。

学部

平成31年度

区 分		入学定員	志願者数		入学者数		岡山県内 出身者	入学者の出身地別 (百分比)	
			男	女	男	女		県内	県外
文学部		175	220	379	54	122	27	15.3	84.7
教育学部		280	228	468	91	190	120	42.7	57.3
法学部	法学科（昼間コース）	205	344	238	99	111	51	24.3	75.7
	法学科（夜間主コース）	20	64	47	11	12	16	69.6	30.4
経済学部	経済学科（昼間コース）	205	473	200	138	71	58	27.8	72.2
	経済学科（夜間主コース）	40	94	83	21	23	29	65.9	34.1
理学部		140	284	108	115	30	22	15.2	84.8
医学部	医学科	112	266	141	80	32	40	35.7	64.3
	保健学科	160	93	447	26	130	44	28.2	71.8
歯学部		48	92	105	25	23	15	31.3	68.7
薬学部	薬学科	40	74	145	16	25	10	24.4	75.6
	創薬科学科	40	65	30	30	10	12	30.0	70.0
工学部		460	896	177	408	70	117	24.5	75.5
環境理工学部		150	270	78	126	31	50	31.8	68.2
農学部		120	167	168	64	58	24	19.7	80.3
グローバル・ディスカ バリー・プログラム	（平成30年10月入学）		43	35	12	13	0	0.0	100.0
	（平成31年4月入学）		11	45	6	26	13	40.6	59.4
合計		2,195	3,684	2,894	1,322	977	648	28.2	71.8
			6,578		2,299				



卒業生進路（修了者就職状況）

大学院

令和元年5月1日現在

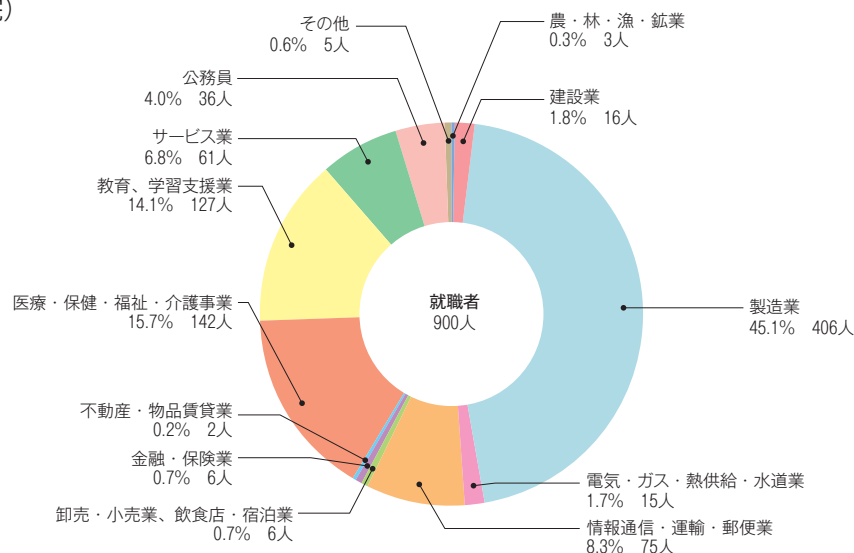
区 分	修了者数	進学者数	就職者数	産業別就職者数																				
				農林漁鉱業	建設業	製造業	水道業	電気ガス・熱供給・水道業	情報通信・運輸郵便業	宿泊業	卸売小売業、飲食店・サービス業	金融保険業	不動産・物品賃貸業	医療保健福祉・介護事業	教育、学習支援業						サービス業	国家公務	地方公務	その他
															小学校	中学校	高等学校	中等教育学校	幼稚園	特別支援学校				
■修士課程・博士前期課程																								
教育学研究科	52 (29)		43 (23)		1 (1)	2 (2)		1 (1)		1 (1)		8 (7)	3 (2)	9 (4)	7 (3)	1			3 (2)	1	1	5		
社会文化科学研究科	89 (46)	10 (3)	55 (25)		1 (1)	8 (6)		9 (3)	3 (2)	3 (1)	2	2 (2)		1	3 (2)	2 (2)			5 (3)	8 (1)	1 (1)	7 (2)		
自然科学研究科	416 (46)	14 (4)	394 (41)	1	5	298 (27)	14	49 (3)	1 (1)	2		2		2 (1)	2				4 (1)	9 (4)	2 (1)	2 (2)	1 (1)	
保健学研究科	27 (17)	2 (1)	23 (14)									21 (13)							2 (1)					
環境生命科学研究科	139 (38)	7 (1)	121 (31)	1	8 (1)	52 (18)	1	12 (1)	2					1	2 (1)				25 (4)	3 (1)	13 (5)	1		
医歯薬学総合研究科	59 (22)	10 (4)	47 (18)			32 (12)		1 (1)				5 (2)							8 (3)	1				
ヘルスシステム統合科学研究科	1	1																						
小計	783 (198)	44 (13)	683 (152)	2	15 (2)	392 (65)	15	72 (9)	6 (3)	6 (2)	2	38 (24)	3 (2)	13 (5)	14 (6)	3 (2)			14 (7)	51 (12)	8 (3)	27 (9)	2 (1)	
■博士課程・博士後期課程																								
社会文化科学研究科	15 (10)		8 (6)									1 (1)							7 (5)					
自然科学研究科	43 (12)		29 (6)			13 (2)		2 (1)											11 (3)	3				
自然科学研究科 5年一貫制	4 (2)		3 (1)																3 (1)					
保健学研究科	8 (8)		8 (8)									2 (2)							6 (6)					
環境生命科学研究科	27 (13)		15 (6)	1	1	1 (1)													7 (3)	5 (2)				
医歯薬学総合研究科	152 (58)		137 (49)					1				101 (35)							29 (11)	2 (1)		1 (1)	3 (1)	
小計	249 (103)		200 (76)	1	1	14 (3)		3 (1)				104 (38)							63 (29)	10 (3)		1 (1)	3 (1)	
■専門職学位課程																								
教育学研究科	17 (6)		17 (6)										11 (4)	2 (1)	1	1 (1)		2						
法務研究科	16 (6)																							
小計	33 (12)		17 (6)										11 (4)	2 (1)	1	1 (1)		2						
合計	1,065 (313)	44 (13)	900 (234)	3 (0)	16 (2)	406 (68)	15 (0)	75 (10)	6 (3)	6 (2)	2 (0)	142 (62)	14 (6)	15 (6)	15 (6)	4 (3)	0 (0)	2 (0)	77 (36)	61 (15)	8 (3)	28 (10)	5 (2)	
■後期3年のみの博士課程																								
兵庫教育大学大学院 連合学校教育学研究科	3 (3)		2 (2)																2 (2)					

※（ ）内は、女子を内数で示す。

※修了者数には単位修得満期退学者を含む。

※兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科欄の数は構成大学である岡山大学（指導教員）に属する学生の修了者数である。

産業別就職状況（大学院）



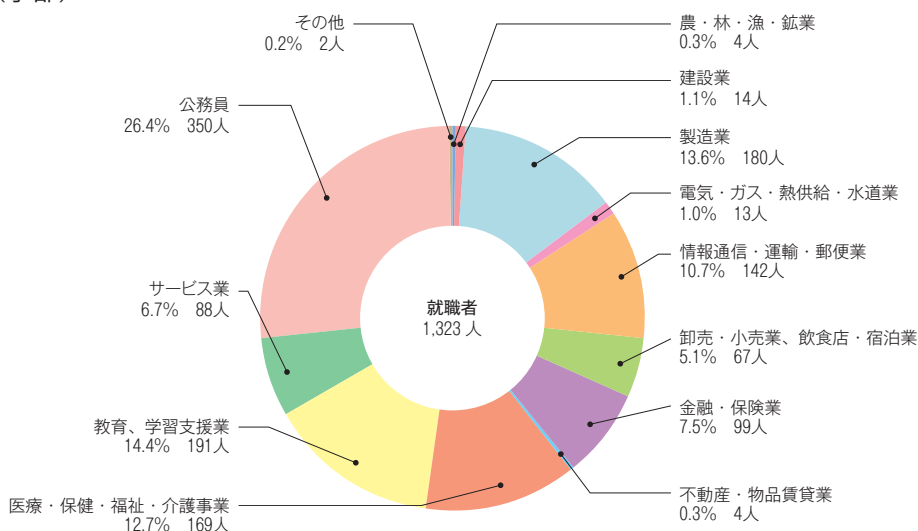
学部

令和元年5月1日現在

区 分	卒業 者数	進学 者数	就職 者数	産業別就職者数																		
				農・林・漁・鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信・運輸・郵便業	卸売・小売業・飲食店・宿泊業	金融・保険業	不動産・物品賃貸業	医療・保健・福祉・介護事業	教育、学習支援業						サービス業	国家公務	地方公務	その他
													小学校	中学校	高等学校	中等教育学校	幼稚園	特別支援学校				
文学部	177 (137)	13 (10)	150 (119)			10 (5)		30 (24)	10 (9)	9 (9)	1 (1)	3 (3)		2 (2)	9 (4)			2 (1)	11 (11)	22 (18)	41 (32)	
教育学部	283 (178)	32 (12)	226 (153)		1 (1)	7 (4)	3 (2)	14 (8)	9 (8)	9 (5)	1 (1)	12 (11)	94 (60)	18 (13)	9 (7)		10 (10)	5 (5)	12 (9)	8 (5)	2 (1)	12 (4)
法学部 (昼間コース)	208 (99)	22 (10)	162 (82)		2 (1)	9 (4)	1 (1)	10 (5)	2 (2)	8 (3)		3 (3)						4 (3)	11 (9)	46 (19)	66 (33)	
法学部 (夜間主コース)	22 (12)	1 (9)	18 (9)			1 (1)	1 (1)	3 (1)		2 (1)		1 (1)						1 (1)	2 (2)	3 (2)	3 (1)	
経済学部 (昼間コース)	208 (73)	5 (2)	193 (67)		2 (1)	23 (6)	1 (1)	27 (5)	12 (5)	45 (17)	2 (2)							7 (2)	15 (5)	22 (11)	37 (14)	
経済学部 (夜間主コース)	39 (22)	2 (2)	33 (18)		2 (1)	9 (3)		5 (2)	5 (4)	5 (3)		2 (2)							3 (1)	1 (1)	1 (1)	
理学部	152 (32)	104 (22)	45 (10)			12 (1)	1 (1)	8 (3)		2 (2)				3 (3)	5 (5)			3 (2)	5 (3)	1 (1)	5 (1)	
医学部医学科	122 (31)																					
医学部保健学科	168 (129)	23 (17)	135 (109)					1 (1)	2 (2)			132 (106)										
歯学部	45 (26)	1 (1)																				
薬学部薬学科	43 (25)	2 (1)	39 (24)			5 (3)			18 (11)			13 (8)								1 (1)	2 (2)	
薬学部創薬科学科	44 (12)	38 (11)	4 (1)															1 (1)	1 (1)		2 (2)	
工学部	483 (67)	328 (27)	145 (39)		1 (2)	80 (23)	3 (1)	32 (6)	3 (1)	6 (2)		1 (1)							7 (2)	4 (1)	7 (2)	
環境理工学部	147 (31)	55 (9)	88 (21)	1 (2)	6 (2)	8 (3)	3 (3)	7 (3)	1 (1)	2 (2)									16 (5)	14 (3)	30 (4)	
農学部	126 (69)	47 (20)	74 (46)	3 (2)		15 (11)		5 (1)	5 (2)	7 (5)		1 (1)			2 (2)			2 (2)	6 (2)	8 (5)	20 (13)	
マッチング プログラムコース	14 (9)	3 (1)	11 (8)			1 (1)				4 (3)		1 (1)		1 (1)				1 (1)	3 (1)			
合計	2,281 (952)	676 (145)	1,323 (706)	4 (2)	14 (5)	180 (65)	13 (5)	142 (59)	67 (45)	99 (48)	4 (2)	169 (136)	94 (60)	24 (16)	25 (13)	0 (0)	10 (10)	5 (5)	33 (21)	88 (47)	124 (58)	226 (108)

注：() 内は、女子を内数で示す。

産業別就職状況（学部）



専攻科・別科

令和元年5月1日現在

1 学生数	区 分	定 員	現 員
	特別支援教育特別専攻科	15	8
	養護教諭特別別科	40	39

令和元年5月1日現在

2 修了者 就職状況	区 分	修了者数	進学者数	就職状況			その他
				民間企業	教員	公務員	
	特別支援教育特別専攻科	12		1	8		3
	養護教諭特別別科	39		5	27		7

奨学生数

大学院

令和元年5月1日現在

研究科	区 分	日本学生支援機構		地方公共団体・その他	計
		第一種貸与	第二種貸与		
■修士課程・博士前期課程					
教育学研究科		11	1		12
社会文化科学研究科		4			4
自然科学研究科		220	24	1	245
保健学研究科		6			6
環境生命科学研究科		47	4		51
医歯薬学総合研究科		17	5	1	23
ヘルスシステム統合科学研究科		36	6	3	45
■博士課程・博士後期課程					
社会文化科学研究科		1			1
自然科学研究科		12	1	1	14
保健学研究科		1			1
環境生命科学研究科		3			3
医歯薬学総合研究科		18	1		19
ヘルスシステム統合科学研究科					0
■専門職学位課程					
教育学研究科		8			8
法務研究科		5	5	7	17
合計		389	47	13	449

※新入生を除く

学部

令和元年5月1日現在

学部	区 分	日本学生支援機構			地方公共団体・その他	計
		第一種貸与	第二種貸与	給 付		
文学部		148	71	4	5	228
教育学部		208	123	13	6	350
法学部	法学科（昼間コース）	173	95	3	8	279
	法学科（夜間主コース）	10	11	2		23
経済学部	経済学科（昼間コース）	154	86	5	3	248
	経済学科（夜間主コース）	44	11	4	1	60
理学部		95	87	2	4	188
医学部	医学科	67	70		3	140
	保健学科	143	89	5	5	242
歯学部		29	27	1	1	58
薬学部	薬学科	47	29	1	4	81
	創薬科学科	25	16	4	1	46
工学部		330	225	13	15	583
環境理工学部		86	69	3	4	162
農学部		78	41	6	4	129
マッチングプログラムコース		13	7		1	21
グローバル・ディスカバリー・プログラム		10	5	3	1	19
合計		1,660	1,062	69	66	2,857

※新入生を除く

学位授与者数

平成31年3月25日現在

種 類	修 士	博 士		専門職学位	旧制博士
		課程修了	論文提出		
文 化 科 学	38	17	2		
公 共 政 策 学	36				
学 術 学	164	659	86		
文 学	1,296	92	8		
教 育 学	2,312				
法 学	459	21	6		
経 済 学	392	37	2		
経 営 学	151				
理 学	3,247	368	66		
医 学		2,758	3,823		2,461
医 科 生 学	301				
公 衆 衛 生 学	14				
看 護 学	185	16			
保 健 学	235	69	6		
歯 学		623	93		
歯 科 学	32				
薬 学	1,566	273	139		
薬 科 学	271	15	9		
工 学	8,998	633	154		
環 境 理 工 学	484	13	2		
環 境 学	1,075	113	3		
農 学	2,615	301	103		
統 合 科 学	1				
教 職 修 士				205	
法 務 博 士				382	
合 計	23,872	6,008	4,502	587	2,461

※学士を除く。

岡山大学病院病床数及び患者数

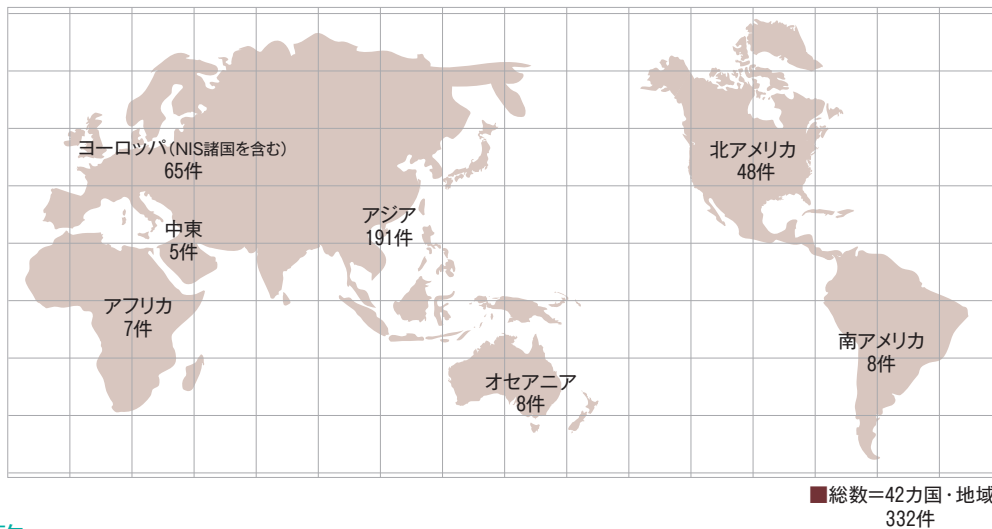
平成30年度

区 分	病床数	1 日平均	
		入院患者数	外来患者数
医 科	834	657	2,044
歯 科	21	17	671
合 計	855	674	2,715



協定大学等分布

令和元年5月1日現在



協定一覧

大学間協定163件

国・地域名	大学等名
インドネシア	ボゴール農科大学、ハサヌディン大学、ガジャマダ大学、アンタラス大学、インドネシア大学
カンボジア	カンボジア国立教育大学、王立ブノンベン大学、カンボジア王国労働・職業訓練省労働安全衛生部門
タイ	マヒドン大学、メージョー大学、カセサート大学、チュラロンコン大学、プリンスオブソクラー大学、チェンマイ大学、タマサート大学
台湾	国立台湾大学、国立台北科技大学、開南大学、国立中興大学、輔仁大学、長庚大学、国立高雄大学、高雄医学大学
大韓民国	光州科学技術院、成均館大学校、高麗大学校、江原大学校、全南大学校
大韓民国・中華人民共和国	上海中医薬大学・圓光大学校※1
中華人民共和国	東北師範大学、内モンゴル農業大学、鄭州大学、北京航空航天大学、中国科学院昆明植物研究所、大連工業大学、遼寧科技大学、同済大学、中国医科学大学、ハルビン医科学大学、大連医科学大学、吉林大学、北京信息科技大学、上海理工大学、河南科技大学、内モンゴル大学、首都師範大学、長春理工大学、陝西師範大学、ハルビン工程大学、華東政法大學、延辺大学、中山大學、吉林華橋外國語學院、南方医科学大学、北京外国語大学、河北医科学大学、中国政法大学、東北大学、天津市中心婦産科医院、浙江工業大学、浙江工商大学
バングラデシュ	バングラデシュ農科大学
フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学、サン・カルロス大学
ベトナム	ダラット大学、フエ大学、ハノイ工科大学、ベトナム国家大学ハノイ、ハイフォン医科学科大学、ノンラム大学
マレーシア	マレーシア工科大学、マラヤ大学、マレーシアプトラ大学
ミャンマー	ミャンマー国保健省医科学局及び医学研究局、マンダレー工科大学、ヤンゴン工科大学、ヤンゴン看護大学、ヤンゴン第一医科学大学、パテイン大学、ヤンゴン第二医科学大学、ミャンマー国保健省食品医薬品局、ミャンマー国教育省高等教育局、ヤタナボンサイバーシティ工科大学、ヤンゴン情報技術大学、マグウェイ医科学大学
モンゴル	モンゴル国立農業大学、モンゴル国立大学
トルコ	カラデニズ工科大学、エーゲ大学、トルグットオザル大学、ジルベ大学
ウガンダ	マケレレ大学
エジプト	カイロ大学
ガーナ	ガーナ大学
ケニア	ジョモケニアアツタ農工大学
オーストラリア	サウスオーストラリア大学、アデレード大学、ウエスタンオーストラリア大学、サザンクロス大学、スウィンバーン工科大学
アメリカ合衆国	サンノゼ州立大学、カリフォルニア州立大学イーストベイ校、カンザス大学、ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校、カリフォルニア州立大学フラトン校、南オレゴン大学、メリーランド大学ボルチモア校、アリゾナ州立大学、グアム大学、カリフォルニア州立大学モントレイベイ校、ハワイ大学マノア校、ピッツバーグ大学、チャタム大学、アラバカン州立大学、ノーザンアイオワ大学、ウエイン州立大学、ポートランド州立大学、ミズーリ大学、ダラスバプティスト大学、ウィチタ州立大学、ノースカロライナ大学グリーンズボロ校、カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校、ロードアイランド大学、シェファード大学、テネシー工科大学
カナダ	アルバータ大学、ビショップス大学、カールトン大学、ケベック先端科学技術大学院大学 (INRS)、プリティッシュコロンビア大学
ブラジル	リオデジャネイロ州立大学、パウリスタ大学、サンパウロ大学
イタリア	ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学、ローマ・ラ・サピエンツァ大学、トリノ大学
英国	シェフィールド大学、カーディフ大学、エジンバラ大学、イースト・アングリア大学、ヨーク・セントジョン大学、サリー大学、ケント大学
オーストリア	国際原子力機関
オランダ	ユトレヒト大学カレッジ
スペイン	ムルシア大学
セルビア	ノヴィサド大学、ベオグラード大学
ドイツ	ハノーファー大学、ドレスデン工科大学
フランス	ピエール・マリキュリー大学、ストラスブール大学、ボルドーモンテーニュ大学、グルノーブル大学連合、西ブルターニュ大学、クレルモン・オーベルニュ大学、トゥールーズ第3ポール・サバティエ大学、ボワティエ大学、トゥールーズ国立工科大学、バリ・サクレー大学
ポーランド	アダム・ミツキエヴィチ大学
ボルトガル	リスボン大学

注：※1印は、3大学間協定であることを示す。

協定一覧

部局間協定169件

国・地域名	大学等名
社会文化科学研究科	
台湾	淡江大学国際研究学院日本政経研究所、国立嘉義大学人文芸術学院、政治大学法学院、国立中正大学社会科学院・法学院※2
大韓民国	国民大学校社会科学大学国際学部
中華人民共和国	上海社会科学院部門経済研究所、浙江大学経済学院、復旦大学中国語文学系、山東大学韓国学院、吉林省社会科学院、上海海事大学法学院、蘭州大学外国語学院及び文学院※2
トルコ	チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学社会科学研究所
スペイン	サラマンカ大学
ドイツ	ベルリン自由大学歴史・文化学部
自然科学研究科	
インド	スリ・ラマサミー・メモリアル大学科学人文学部
インドネシア	スラバヤ工科大学、スラバヤ電子工学ポリテクニク、ブラウィジャヤ大学理学部、インドネシア原子力庁・アイントープ放射線利用センター、国立マランポリテクニク※2、メルデカマラン大学大学院及び工学部※2
タイ	スワンスナター・ラチャバット大学理工学部※3、ブラバー大学理学部※2
台湾	国立台湾師範大学工学部
大韓民国	漢陽大学工学部、昌原大学校メカトロニクス大学、群山大学校産学融合工科大学及び工科大学、昌原大学校一般大学院
中華人民共和国	浙江大学材料及び化学工程学院、西安交通大学、中国科学院上海有機化学研究所、北京大学医学部、中国科学院大連化学物理研究所、中国人民大学化学科、香港中文大学理学院化学科、中国科学院福建物質構造研究所、廈門大学材料学院、北京大学生命科学学院、中国科学院北京植物研究所、蘭州大学核科学技術学院※3、中国地質大学（武漢）地質過程・鉱産資源国家重点実験室※3
エジプト	サウスバレー大学、エルメノフェイア大学理学部
エチオピア	アジスアベバ大学自然科学計算科学大学※3
カナダ	サスカチュワン大学文理学部※3
アメリカ合衆国	バーデュー大学理学部、オハイオ州立大学アーツアンドサイエンス校
イタリア	マルシェ科学技術大学工学部※2、フェデリコⅡ世・ナポリ大学物理学科※3
スペイン	ジローナ大学理学部
チェコ	カレル大学理学部
デンマーク	コペンハーゲン大学理学部
ドイツ	ミュンスター大学生物学部
フランス	パリ・サクレー大学エコール・ポリテクニク校
ブルガリア	ソフィア大学化学及び薬学部
ポーランド	ポーランド科学アカデミー物理学研究所※3
保健学研究科	
タイ	シーマハサラカム看護大学
大韓民国	釜山カトリック大学看護学科・臨床検査学科・放射線学科
環境生命科学研究科	
インドネシア	スマトラウタラ大学大学院天然資源環境管理研究科、バンドゥン工科大学土木環境工学部
タイ	ブラバー大学理学部※3
大韓民国	韓国産業技術大学知識技術・エネルギー研究科、檀国大学校工科大学
中華人民共和国	河北農業大学林学院、華中農業大学経済管理・土地管理学院
バングラデシュ	パツァカリ科学技術大学畜産獣医学部
ベトナム	フエ農林大学、ハノイ土木大学・環境理工学研究所、ホーチミン市経済大学経済学部、ダナン工科大学、ドンナイ省科学技術局、アンジャン大学、ハノイ天然資源環境大学、ダナン大学技術教育大学
アメリカ合衆国	アラスカ大学フェアバンクス校国際極圏研究センター
カナダ	プリティッシュコロンビア大学森林学部
イタリア	テラモ大学獣医学部
ポーランド	グダニスク工科大学土木環境工学部
医歯薬学総合研究科	
インドネシア	ウタヤナ大学医学部
大韓民国	東国大学校慶州キャンパスバイオ融合研究院、建国大学KUオープンイノベーションセンターBK21プラスプログラム
中華人民共和国	浙江省人民病院※3
アメリカ合衆国	ミンガン大学医学部、アーカンソー大学フェイエットビル校
イタリア	ラクイラ大学医学部
チェコ	カレル大学第1医学部
フランス	パリ神経科学大学院
ヘルスシステム統合科学研究科	
インド	アミティ大学コルカタ校、シスター・ニヴェーディター大学
インドネシア	国立マランポリテクニク※2、メルデカマラン大学大学院及び工学部※2
デンマーク	デンマーク工科大学電気工学科
文学部	
中華人民共和国	山東大学政治学・公共管理学院、浙江大学人文学院、蘭州大学外国語学院及び文学院※2
ドイツ	ルール大学ボーフム人文諸学部、トリア大学第二学部言語・文学・メディア学
ロシア	国立アカデミー人文大学
教育学部	
インドネシア	インドネシア教育大学数学・自然科学教育学部
オーストラリア	キャンベラ大学
法学部	
台湾	国立中正大学社会科学院・法学院※2
中華人民共和国	北京大学法学院

国・地域名	大学等名
経済学部	
中華人民共和国	中央財經大学経済学院
ルーマニア	ブカレスト大学行政及び経営管理学部
理学部	
インド	ハイデラバード大学生命科学学部
エチオピア	アジスアベバ大学自然科学計算科学大学※3
中華人民共和国	北京大学化学及び分子工程学院
タイ	スワンスナター・ラチャバット大学理工学部※3、ブラバー大学理学部※2
アメリカ合衆国	ノートルダム大学理学部
ドイツ	コンスタンツ大学化学部
ポーランド	クラコフ工科大学
医学部	
大韓民国	慶尚大学校医科大学
中華人民共和国	中国医学科学院北京協和医学院、南昌大学医学院
チェコ	マサリク大学医学部
ハンガリー	デブレツェン大学医学部、セメルweis大学医学部
歯学部	
インド	ニッテ大学歯学部（ABSM 歯学研究so）
台湾	台北医学大学口腔医学院
大韓民国	ソウル大学歯学部
中華人民共和国	南昌大学医学院、北京大学口腔医学院、大連医科大学口腔医学院、香港大学歯学部
モンゴル	モンゴル医科大学歯学部
フィリピン	サウスウェスタン大学歯学部
ベトナム	ハノイ医科大学歯学部
ミャンマー	ヤンゴン歯科医学大学、マンダレー歯科医学大学
オーストラリア	チャールズ・スタート大学歯学部
ニュージーランド	オタゴ大学歯学部
ブラジル	サンパウロ大学歯学部、サンパウロ大学リベランプレット歯学部、イビラプエラ大学歯学部
チリ	フィニステラエ大学歯学部、チリ大学歯学部
アメリカ合衆国	ワシントン大学歯学部、オハイオ州立大学歯学部
カナダ	サスカチュワン大学歯学部、プリティッシュコロンビア大学歯学部、トロント大学歯学部
英国	グラスゴー大学歯学部
ギリシャ	テッサロニキアリストテレス大学歯学部
薬学部	
台湾	台北医学大学薬学部
大韓民国	梨花女子大学校薬学大学
工学部	
インドネシア	国立マランポリテクニク※2、メルデカマラン大学大学院及び工学部※2
大韓民国	済州大学校工科大学、忠北国立大学電子・計算機工学部
中華人民共和国	上海交通大学機械・動力工程学院、四川大学化学学院、同済大学機械工学部
バングラデシュ	クルナ大学科学工学技術学校
アメリカ合衆国	ミズーリ大学ロー校工学部
イタリア	ローマ第3大学工学部
フィンランド	タンペレ工科大学
ポルトガル	ポルト大学工学部
ルーマニア	ベトルボニ高分子化学研究所
環境理工学部	
台湾	国立東華大学管理学院
カナダ	サスカチュワン大学工学部
農学部	
インドネシア	サム・ラチュランギ大学、スリビジャヤ大学農学部
中華人民共和国	浙江大學農業生物技術学院
ベトナム	ドンナイ・バイオテクノロジ・ハイテク・パーク
資源植物科学研究所	
タイ	ブラバー大学理学部※3
ロシア	ロシア連邦国立科学センター生物医学研究所、カザン大学基礎医学生物学研究所
惑星物質研究所	
中華人民共和国	中国地質大学（武漢）地質過程・鉱産資源国家重点実験室※3
アメリカ合衆国	リーハイ大学地球環境科学科、カーネギー研究機構・地球物理研究所
カナダ	ウェスタンオンタリオ大学・地球科学部
異分野基礎科学研究所	
タイ	ブラバー大学理学部※2
中華人民共和国	蘭州大学核科学技術学院※3
イタリア	マルシェ科学技術大学工学部※2、フェデリコⅡ世・ナポリ大学物理学科※3
ポーランド	ポーランド科学アカデミー物理学研究所※3
カナダ	サスカチュワン大学文理学部※3
岡山大学病院	
台湾	台中榮民総合病院
中華人民共和国	浙江省人民病院※3
ベトナム	循環器センターE病院
ミャンマー	ビクトリア病院
グローバル人材育成院	
中華人民共和国	青島科技大学国際交流与合作処、大連海事大学外国語学院、江蘇理工学院外国語学部
オランダ	ライデン大学人文学部

注：※2印は、4部局間協定であることを示す。
※3印は、3部局間協定であることを示す。

国籍・地域別・在籍身分別

令和元年5月1日現在

区分	大学院生		学部 学生	研究生・ その他	計	
	博士 課程	修士 課程				
アジア	中国	113	147	38	121	419
	韓国	4	1	31	9	45
	ベトナム	29	9	4		42
	インドネシア	16		10		26
	バングラデシュ	19	2	2		23
	ミャンマー	16	3	2	2	23
	マレーシア	2		18		20
	台湾	2	3	3	10	18
	インド	7		1	1	9
	タイ	2	1	2	2	7
	パキスタン	3				3
	スリランカ	1	1	1		3
	フィリピン			2		2
	モンゴル		1		1	2
	ネパール	1				1
	カンボジア		1			1
ラオス	1				1	
	小計	216	169	114	146	645
中東	トルコ	2	2		1	5
	アフガニスタン	1	3			4
	シリア	2			1	3
	イラン	1				1
	ヨルダン	1				1
	イラク				1	1
	サウジアラビア				1	1
	パレスチナ	1				1
	イエメン	1				1
		小計	9	5	0	4
アフリカ	エジプト	9				9
	ケニア	6	1		1	8
	ガーナ	3		1		4
	タンザニア	1		1		2
	チュニジア	1				1
	ナイジェリア		1			1

区分	大学院生		学部 学生	研究生・ その他	計	
	博士 課程	修士 課程				
	エチオピア		1		1	
	南アフリカ			1	1	
	小計	20	3	3	1	27
オセアニア	フィジー諸島		2			2
	オーストラリア				1	1
	トンガ		1			1
	ソロモン諸島		1			1
	バヌアツ		1			1
	小計	0	5	0	1	6
北米	アメリカ合衆国			3	7	10
	カナダ			2	1	3
	小計	0	0	5	8	13
中南米	ブラジル				2	2
	パラグアイ	1				1
	小計	1	0	0	2	3
ヨーロッパ (NIS 諸国を含む)	フランス	1			12	13
	ドイツ				10	10
	イタリア		1		9	10
	イギリス				9	9
	セルビア				3	3
	スペイン			1	1	2
	ルーマニア	1			1	2
	ロシア		1	1		2
	ポーランド				1	1
	ウクライナ				1	1
	ウズベキスタン	1				1
	カザフスタン			1		1
	ボスニア・ヘルツェ ゴビナ				1	1
	小計	3	2	3	48	56
合計 56ヶ国	249	184	125	210	768	

経費別・在籍身分別

令和元年5月1日現在

経費区分		大学院生		学部学生	研究生・その他	計
		博士課程	修士課程			
国費	大使館推薦	15	1	2	8	26
	大学推薦	69	9	2	3	83
	日韓共同理工系学部留学生 (日本政府)			11		11
	小計	84	10	15	11	120
私費	日韓共同理工系学部留学生 (韓国政府)			9		9
	マレーシア政府派遣			15		15
	自費	165	174	86	199	624
	小計	165	174	110	199	648
合計		249	184	125	210	768

財 政

決算／予算

平成30事業年度決算

貸借対照表

平成31年3月31日
(単位：百万円)

科 目	金額
資産の部	
I. 固定資産	
1. 有形固定資産	111,400
2. 無形固定資産	420
3. 投資その他の資産	1,737
固定資産合計	113,558
II. 流動資産	
現金及び預金	10,739
未収収入	6,429
その他の流動資産	322
流動資産合計	17,491
資 産 合 計	131,049

科 目	金額
負債の部	
I. 固定負債	36,036
II. 流動負債	16,123
負債合計	52,160
純資産の部	
I. 資本金	69,798
II. 資本剰余金	2,870
III. 利益剰余金	6,219
純資産合計	78,888
負債純資産合計	131,049

損益計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日
(単位：百万円)

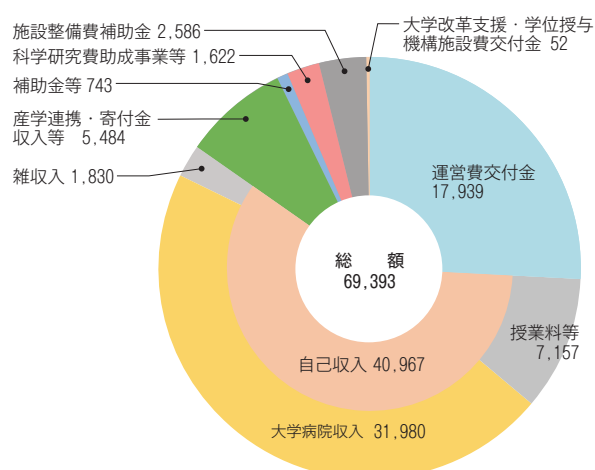
科 目	金額
経常費用	66,966
業務費	65,466
一般管理費	1,329
その他の費用	170
経常収益	67,178
運営費交付金収益	18,022
学生納付金収益	7,638
附属病院収益	32,572
その他の収益	8,944
経常利益	211
臨時損失	165
臨時利益	126
当期純利益	172
目的積立金取崩額	50
当期総利益	223

※金額の単位は、百万円未満を切り捨てて記載しています。
※文部科学大臣の承認を受けるまでは、金額等の変更が生じることがあります。

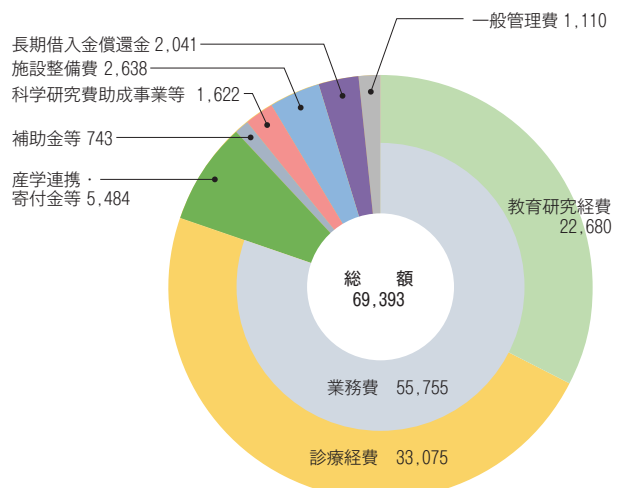
令和元年度予算

(単位：百万円)

収 入



支 出



科学研究費助成事業

【令和元年度採択状況】

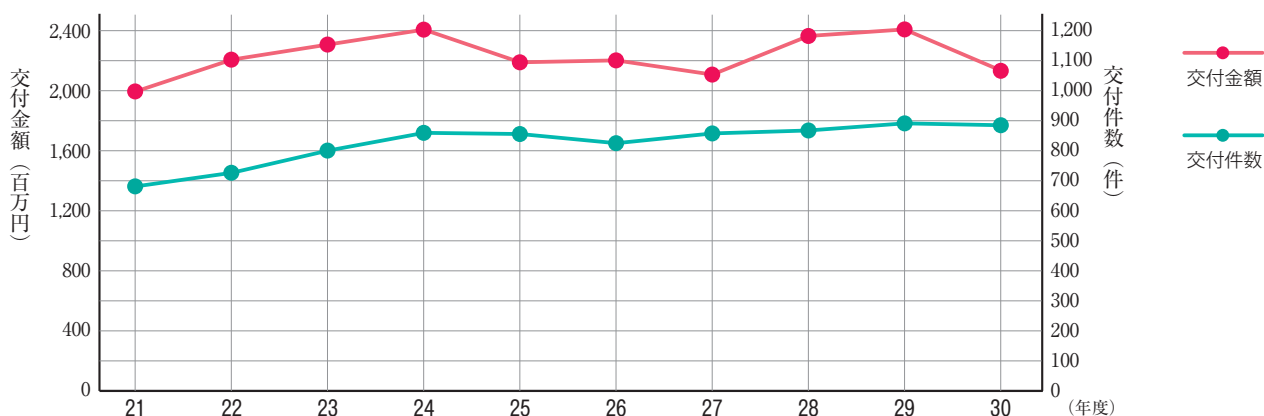
令和元年5月31日現在

研究種目	採択件数	配分額（単位：千円）
特別推進研究	1	70,200
基盤研究（S）	0	0
基盤研究（A）	17	167,700
基盤研究（B）	104	563,940
基盤研究（C）	471	641,030
挑戦的研究（萌芽）	25	50,570
若手研究（A）	3	15,340
若手研究（B）	39	39,260
若手研究	167	269,100
研究活動スタート支援	6	6,630
特別研究員奨励費	28	30,480
新学術領域研究（研究領域提案型）	27	287,105
計	888	2,141,355

注：配分額には間接経費として措置された金額を含む。

【配分額及び採択件数の推移】

年度	21 (2009)	22 (2010)	23 (2011)	24 (2012)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)
交付金額 (単位：千円)	2,018,005	2,232,960	2,334,819	2,431,524	2,215,276	2,228,337	2,131,650	2,392,540	2,402,305	2,134,663
交付件数	686	732	807	867	863	832	865	875	899	885



外部資金受入状況

平成30年度

区分	件数	受入額（単位：千円）
民間等との共同研究	348	565,779
受託研究	257	1,819,126
寄付金	2,371	1,808,337

共同研究講座

令和元年5月1日現在

部局名	講座名	設置期間	設置目的
大学院医歯薬学総合研究科	臨床バイオバンクネットワークワーキング事業化研究講座	平成27年7月1日～令和元年6月30日	バイオバンク運用の効率化と品質担保及びバイオバンク事業化のための研究を行い、バイオバンクの自立化（事業化）のためのグランドデザインを構築する。
大学院医歯薬学総合研究科	臨床リンパ学講座	平成30年4月1日～令和2年3月31日	基礎及び臨床の双方からタイアップしてEBMに基づいたリンパ浮腫の診断・評価並びに治療方法を確立する。

寄付講座

令和元年5月1日現在

部局名	講座名	設置期間	設置目的
大学院医歯薬学総合研究科	運動器医療材料開発講座	平成19年4月1日～令和4年3月31日	運動器医療材料の開発や研究を行い、運動器医療の発展に貢献するため
大学院医歯薬学総合研究科	先端循環器治療学講座	平成22年4月1日～令和4年3月31日	高度最先端循環器内科治療を地域に普及させるため
大学院医歯薬学総合研究科	地域医療人材育成講座	平成22年5月1日～令和2年3月31日	将来の岡山県の地域医療を担う人材の育成や地域医療の支援と連携に係る教育研究を行うとともに、その研究成果の普及を行い、県民の健康・福祉の向上に寄与するため
大学院医歯薬学総合研究科	運動器知能化システム開発(帝人ナカシマメディカル)講座	平成22年9月1日～令和2年3月31日	インプラントデバイスの高機能化及びコンピューターテクノロジーを応用した手術支援システムによる運動器の再構築を目指し、その基礎研究結果を早期に臨床応用するため
大学院医歯薬学総合研究科	CKD・CVD地域連携包括医療学講座	平成23年11月1日～令和元年10月31日	CVD(心血管疾患)の専門家である循環器内科との密接な協力によりCKD(慢性腎臓病)診療の発展と末期腎不全患者数増加の抑制、心血管疾患合併の予防に貢献するため
大学院医歯薬学総合研究科	小児急性疾患学講座	平成25年4月1日～令和5年3月31日	福山・府中圏域における小児救急医療に関わる医師の育成及び効果的な医療提供体制に関する研究を行い、将来に亘り持続可能な小児救急医療体制を構築するため
大学院医歯薬学総合研究科	救急外傷治療学講座	平成26年11月1日～令和2年10月31日	外傷診療や災害時の外傷の諸課題に対応するために外傷診療システムの構築と外傷診療に精通した人材の教育・養成を行い、最適な外傷の救急医療体制の構築に貢献するため
大学院教育学研究科	国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座	平成27年10月1日～令和3年3月31日	地域の芸術・文化資源を活かした美術鑑賞手法の開発と実践教育、国吉康雄の作品及び画業と生き方の研究と顕彰、地域コミュニティと地域文化の発展に寄与する人材の育成のため
大学院医歯薬学総合研究科	陽子線治療学講座	平成27年12月1日～令和3年11月30日	陽子線治療について、学生や医療従事者への教育・啓蒙、精通した人材の育成、普及・周知活動、研究を通じて療治療成績の向上に寄与するため
大学院医歯薬学総合研究科	三朝地域医療支援寄付講座	平成28年1月1日～令和3年12月31日	三朝地域の医療機関における医療の質を維持・向上させ、最適な地域医療提供体制の整備、確立に寄与するとともに、地域医療を担う医師等の養成及び研修プログラムを開発するため
大学院医歯薬学総合研究科	血液浄化療法人材育成システム開発学講座	平成28年1月1日～令和3年12月31日	腎不全に対する治療法、特に血液透析を主体とする血液浄化療法に関する人材育成システムの開発について教育・研究を推進するため
大学院医歯薬学総合研究科	運動器外傷学講座	平成28年4月1日～令和2年3月31日	骨折疾患に対する多角的な現状調査、実際の治療を通じて新規治療法の研究開発、骨折に対する若手医師や指導医などへの教育を行うため
大学院医歯薬学総合研究科	地域救急・災害医療学講座	平成29年4月1日～令和2年3月31日	地域医療、救急医療、災害医療を総括して研究するため
大学院医歯薬学総合研究科	岡山県南東部(玉野)総合診療医学講座	平成29年4月1日～令和2年3月31日	医療過疎対策地域医療学分野の研究をより一層発展させ、地域社会へ貢献するため
大学院医歯薬学総合研究科	岡山県南西部(笠岡)総合診療医学講座	平成29年4月1日～令和4年3月31日	総合医療など地域医療を担う医師等の養成及び現地ニーズに即した島しょ部医療に関する教育・研究を行い、地域医療の向上に寄与するため
大学院医歯薬学総合研究科	高齢者救急医療学講座	平成29年11月1日～令和4年10月31日	高齢化社会の進む井原市において、超高齢化医療過疎地域における適正な高齢者救急医療のあり方についての行政的課題に取り組むとともに、最適な地域医療体制(救急医療)の構築に寄与するため
大学院医歯薬学総合研究科	岡山県北西部(新見)総合診療医学講座	平成30年4月1日～令和5年3月31日	地域医療・へき地医療における教育・研究を基盤とし、円滑で継続的な地域医療における医師の育成を支えるため
大学院医歯薬学総合研究科	運動器スポーツ医学講座	平成30年4月1日～令和3年3月31日	スポーツに伴う運動器損傷に対する医療をスポーツ復帰に至るまで重点的に取り組み、スポーツ損傷の予防と治療に関する研究を行うことで選手の競技能力を向上させるため
大学院医歯薬学総合研究科	災害医療マネジメント学講座	平成30年7月1日～令和5年3月31日	鳥取県東部圏域の災害救急に貢献する人材の育成及び救急医療体制に関する実践研究を行うとともに、その成果の普及を行い、広域的な災害等が発生した場合の救急医療体制の構築に寄与するため
全学教育・学生支援機構	SiEED-Okayama・起業家精神養成学講座	平成30年12月1日～令和3年11月30日	豊かな起業家精神と知識・技能を持つ人材、いわゆるアントレプレナー/イントラプレナーを岡山地域から継続的に輩出し、いかなる場においても革新を創出できる人材を育成するため
大学院医歯薬学総合研究科	実践地域内視鏡学講座	平成31年4月1日～令和4年3月31日	内視鏡先進技術の開発と導入、及び地域医療機関における消化管疾患診療の構築について教育及び研究を行うため
大学院医歯薬学総合研究科	瀬戸内(まるがめ)総合診療医学講座	平成31年4月1日～令和6年3月31日	瀬戸内地域医療に関する教育・研究拠点を設置し、総合診療医・総合内科医など地域医療を担う医師等の養成及び香川県丸亀地区のニーズに即した医療に関する教育・研究を行うとともに、その成果の普及を行い、瀬戸内沿岸地域医療の向上に寄与するため

土地・建物

令和元年7月1日現在

区分	土地(m ²)	建物		所在地
		建面積(m ²)	延面積(m ²)	
■津島地区	639,621			
大学本部		22,324	50,508	岡山市北区津島中一丁目1-1
情報統括センター		993	2,355	〃 三丁目1-1
国際部		3,674	10,011	〃 二丁目1-1
附属図書館		4,049	16,386	〃 三丁目1-1
文学部・法学部・経済学部		5,823	19,399	〃 〃
教育学部		7,471	21,194	〃 〃
理学部		5,738	17,901	〃 〃
薬学部		3,166	9,227	〃 一丁目1-1

区分	土地(m ²)	建物		所在地
		建面積(m ²)	延面積(m ²)	
工学部		11,719	32,351	岡山市北区津島中三丁目1-1
環境理工学部		1,506	11,200	〃 〃
農学部		6,191	15,494	岡山市北区津島中一丁目1-1
農学部附属 山陽圏フィールド科学センター岡山農場		3,623	4,298	〃 津島桑の木町1-62
埋蔵文化財調査研究センター		315	484	〃 津島中三丁目1-1
大学院自然科学研究科		2,044	13,021	〃 〃
研究推進機構		941	2,430	〃 〃
自然生命科学研究支援センター		1,876	4,751	岡山市北区津島中
保健管理センター		469	668	〃 二丁目1-1
環境管理センター		675	657	〃 三丁目1-1
■鹿田地区	135,328			
医学部、歯学部		19,893	80,067	岡山市北区鹿田町二丁目5-1
岡山大学病院		20,375	117,069	〃 〃
自然生命科学研究支援センター		1,997	8,098	〃 〃
保育所		420	420	〃 〃
■東山地区	53,210			
教師教育開発センター・ 教育学部附属幼稚園・小・中学校		9,511	15,624	岡山市中区東山二丁目13-80
■平井地区	13,188			
教育学部附属特別支援学校		3,261	4,553	岡山市中区平井三丁目914
■八浜地区	89,536			
農学部附属 山陽圏フィールド科学センター八浜農場		655	655	玉野市東七区
■津高地区	312,484			
農学部附属 山陽圏フィールド科学センター津高牧場		1,721	2,278	岡山市北区日応寺
■倉敷地区	38,536			
資源植物科学研究所		5,701	10,955	倉敷市中央二丁目20-1
■三朝地区	37,433			
惑星物質研究所		4,932	11,939	鳥取県東伯郡三朝町山田827
■牛窓地区	6,956			
理学部附属臨海実験所		1,271	1,504	瀬戸内市牛窓町鹿忍130-17
課外活動研修所		255	252	〃 〃
■芳賀地区	※(5,787)			
産学官融合センター		572	1,138	岡山市北区芳賀5302
■その他の地区				
半田山自然教育研究林	675,813			岡山市北区津島
本島地区	23,036	433	537	香川県丸亀市本島町泊494
その他	4,653	366	603	
宿舎	32,467	7,167	31,178	
合計	2,062,261	161,127	519,205	

※() 無償借上

諸施設

大学会館

施設名	収容人数	面 積	所在地
正課外活動施設	540 人	1,005 m ²	岡山市北区津島中二丁目1-1
福利厚生施設	110	190	
管理施設		1,981	
合計	650	3,176	



交流広場

外国人留学生・研究員宿泊施設

施設名			収容人数	面 積	所在地
国際学生シェアハウス	単身者用（混住型）		120	2,310	岡山市北区津島桑の木町6-2
	※日本人1人、外国人留学生3人の計4人が1ユニットで計30ユニット（男女別）				
国際交流会館	留学生宿舍	単身者用	34 ※うち8室は相部屋（2名1室）	2,167	岡山市北区津島中三丁目1-1
		世帯用	12		
	研究者宿舍	長期単身者用	3		
		短期単身者用	30		
桑の木留学生宿舍	北 棟	単身者用	51 ※うち1室はバリアフリー室	1,455	岡山市北区津島桑の木町6-1
	南 棟	単身者用	100	3,324	
福居留学生宿舍		単身者用	21	825	岡山市北区津島福居二丁目10-4

本学には、国際学生シェアハウス・国際交流会館・桑の木留学生宿舍・福居留学生宿舍の4つの外国人留学生・研究員宿泊施設がある。これらは、本学の外国人留学生及び本学で研究に従事する外国人研究者に居住の場を提供し、併せて国際交流の促進に資することを目的として設置されている。国際学生シェアハウスは、外国人留学生と日本人学生に居住の場を提供するとともに、日常生活を通じて異国の言語や文化、生活習慣に接することで国際感覚を身につけたグローバル人材の育成を目的として、平成28年3月に新しく整備された。各個人の私室を確保しつつ、4人が1つのユニットとして共同生活を送る形態となっており、入寮者同士が自然と交流できる仕様になっている。いずれの宿泊施設も、大学の中心である津島地区に近く、便利な地に位置しており、居住している留学生や研究員は快適な住環境のもと、充実した勉学・研究生活を送っている。



国際学生シェアハウス

学生寮

施設名	収容人数	面 積	所在地
女子学生寮	108 人	2,024 m ²	岡山市北区津島桑の木町6-2

創立五十周年記念館

施設名	収容人数	面 積	所在地
金光ホール	406 人	593 m ²	岡山市北区津島中一丁目1-1
大会議室	60	96	
中会議室	36	76	
小会議室	24	46	

Junko Fukutake Hall

施設名	収容人数	面積	所在地
レクチャーホール	354人	561.89㎡	岡山市北区鹿田町二丁目5-1
会議スペース	30	53.5	



Junko Fukutake Hall

Junko Fukutake Terrace

施設名	席数	面積	所在地
Jテラスカフェ	40席	149.17㎡	岡山市北区津島中一丁目1-1



Junko Fukutake Terrace

西川アゴラ

平成26年8月に、西川緑道公園に面したオフィスビルの2階に開設。同年10月には岡山市との「まちづくり協定」を締結し、本施設を拠点に本学の研究・教育力を戦略的まちづくりに活用している。この付近は中心市街地のまちづくりの核として位置づけられ、市民参加型まちづくりの研究、回遊性調査、勉強会等が行われており、それらの成果を学生や行政、市民と共有する場としても用いられている。

【所在地】岡山市北区田町一丁目8-30 伊達ビル2階

【利用時間】平日 9:00~18:00

地域医療人育成センターおかやま（MUSCAT CUBE）

「学ぶ・集う・繋がる」というコンセプトのもと、岡山県下の医療系学生および医療者全体のレベル向上と地域医療への理解と関心を高めることを目的として、平成24年9月に鹿田キャンパス内に開所された。様々な地域医療の現場で求められている『総合診療』の知識と技術を持つ医師を育成するためのシミュレーション教育プログラムの開発・実践・研究を行うと同時に、広く一般向けのセミナーや講演会を実施し、地域医療教育ならびに情報発信の拠点としての役割を担っている。

岡山大学東京オフィス

JR山手線・京浜東北線田町駅東口から徒歩1分、都営地下鉄浅草線・三田線三田駅から徒歩5分の場所にあり、オフィスには教職員が駐在している。オフィスの役割は首都圏での学生の就職活動、卒業生のフォローアップ活動、同窓会活動、研究活動、産学官連携の支援と広報活動である。

【所在地】108-0023 東京都港区芝浦3-3-6 東京工業大学田町キャンパス内
キャンパス・イノベーションセンター（CIC）6階 601号室

【利用時間】平日 9:30~18:15
（常駐職員の出張・外出などで利用できない場合あり）

福利施設

津島キャンパス内に3つの福利施設がある。

南福利施設（ピーチユニオン）は、1階にコンビニエンスショップ、トラベルサービスセンター、理容室、2・3階にカフェテリア食堂（2階227席・3階278席）、4階にレストラン（124席）がある。北福利施設（マスカットユニオン）は、1階にブックストア、2・3階にカフェテリア食堂（2階276席・3階264席）がある。東福利施設（ピオーネユニオン）は、1階にコンビニエンスショップ、2階にカフェテリア食堂（348席）がある。

岡山大学公開講座 社会に対してより高い教養を提供し、地域の文化の向上等に資することを目的として、公開講座を開設している。

区分	講座名	実施期間	受講対象者	受講定員
人 文 科 学	岡山大学先端研究講座 埋葬からみた古墳時代～王墓はなぜ巨大化するのか～	6月22日	一般(高校生以上)	50人
	岡山大学先端研究講座 「農業女子」にみる時代の画期	10月19日	一般(高校生以上)	50人
	ストレスと共生する生活術	10月5日	高校生・大学生および一般の方	50人
	みんなの金融リテラシー入門	11月9日	一般の方(高校生以上)	30人
	ドイツ近現代史入門 ―「会議は踊る、されど進まず」?:ウィーン会議再考―	12月21日	一般の方(高校生以上)	30人
	ヨーロッパの多文化事情―サッカーを通して考える	7月27日	高校生・大学生および一般の方	50人
	持続可能な社会と制度	6月15日	高校生・大学生および一般の方	50人
	江戸時代の倉敷の町の成り立ち ―幕府代官陣屋元村の特徴―	9月20日	高校生・大学生および一般の方	100人
自 然 科 学	岡山大学先端研究講座 我々の健康に資する植物のミネラル輸送	6月8日	受講資格なし	50人
	自然科学の最先端 ―自然災害から身を守る―	9月29日	中学生・高校生・大学生および一般の方	50人
	コンピュータ技術はどこまで進んでいるの	8月3日	一般の方(高校生以上)	50人
	持続可能でしなやかな社会を実現する地域環境学	8月3日～8月4日	中学生・高校生・大学生および一般の方	80人
	災害と廃棄物:災害後のごみやどーだしゃーえー?	6月9日	中学生・高校生・大学生および一般の方	30人
	物質の創り出す「すごい世界」	8月31日	中学生・高校生・大学生および一般の方	30人
生 命 科 学	物性と温度 ～温度で変化する物質の性質～ (GSCO講座)	未定	高校生・中学生	16人
	現代の薬学(第31回)	7月7日	薬剤師及び一般の方,大学生	50人
	岡山健康講座2019 ―やさしい保健と健康の話―	9月5日～9月26日	一般の方	100人
	「入れ歯マイスター」養成講座	6月4日～10月1日	ご自身の入れ歯の知識を深めたい方,友人や近所の方に入れ歯のアドバイスをしてあげようと思われる方,保健・医療・福祉に携わっていて入れ歯の知識を持ちたい方	30人
	摂食・嚥下リハビリテーション従事者研修会 初級コース	4月10日～7月17日	一般の方(岡山県民)	200人
	岡山大学摂食・嚥下障害研究会～食支援ネットワーク～	5月9日～3月12日	一般の方(岡山県民)	100人
	市民公開講座「歯科と麻酔の歴史」	10月27日	健康および医療の歴史に興味のある方	144人
ヘルスシステム	「歯並びいスマイル2019 ～食べる幸せ つかもう歯並びい～」	6月6日	一般の方(岡山県民)	80人
	ひとの生と死―ヘルスシステムの現場から	7月15日～9月14日	一般の方(高校生以上)	80人
ジュニア向け	ジュニア体操教室(初級)	8月19日～8月28日	小学3年生から6年生	30人
	You Tuber になってみる?	7月14日	小学4年生から6年生	10人
	You Tuber になってみる?	7月15日	小学4年生から6年生	10人
	プログラミングをはじめよう	7月27日～7月28日	小学4年生から6年生	20人
	プログラミングをはじめよう	8月26日～8月27日	小学4年生から6年生	20人
	「集まれ、ちびっ子バイオ博士」	8月31日～9月1日	小中学生およびその保護者の方	10組程度
	岡大ライス博士ジュニアを目指そう!	6月15日～10月19日	小学校4年生から6年生 ※保護者の同伴をお願いします。	20組
木 工	木工講座(中級)ウッド・ターニング“ナチュラルエッジBow!”	8月31日～9月29日	一般の方(高校生以上)	5人
園 芸	育てて食べよう美味しい夏野菜 ―家庭菜園のツボ2019―	4月11日～9月5日	家庭菜園に興味のある一般の方	35人
スキップアップ	【中学生・高校生対象】10代からはじめるキャリア・デザイン入門	8月23日	中学生・高校生の方	20人
	インターネットの安全利用技術	8月23日	一般の方(高校生以上)	100人
	日本救急医学会認定ICLSコース	4月20日～8月以降未定	医療者全般	各18人
ス ポ ー ツ	スポーツ講座	4月24日～1月15日	高校生・大学生および一般の方	100人

アクセス



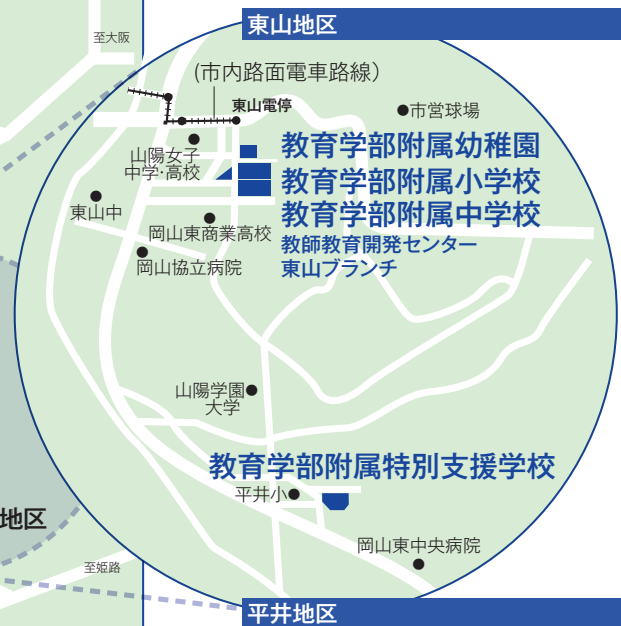
広域図



津島地区 / 鹿田地区



東山地区



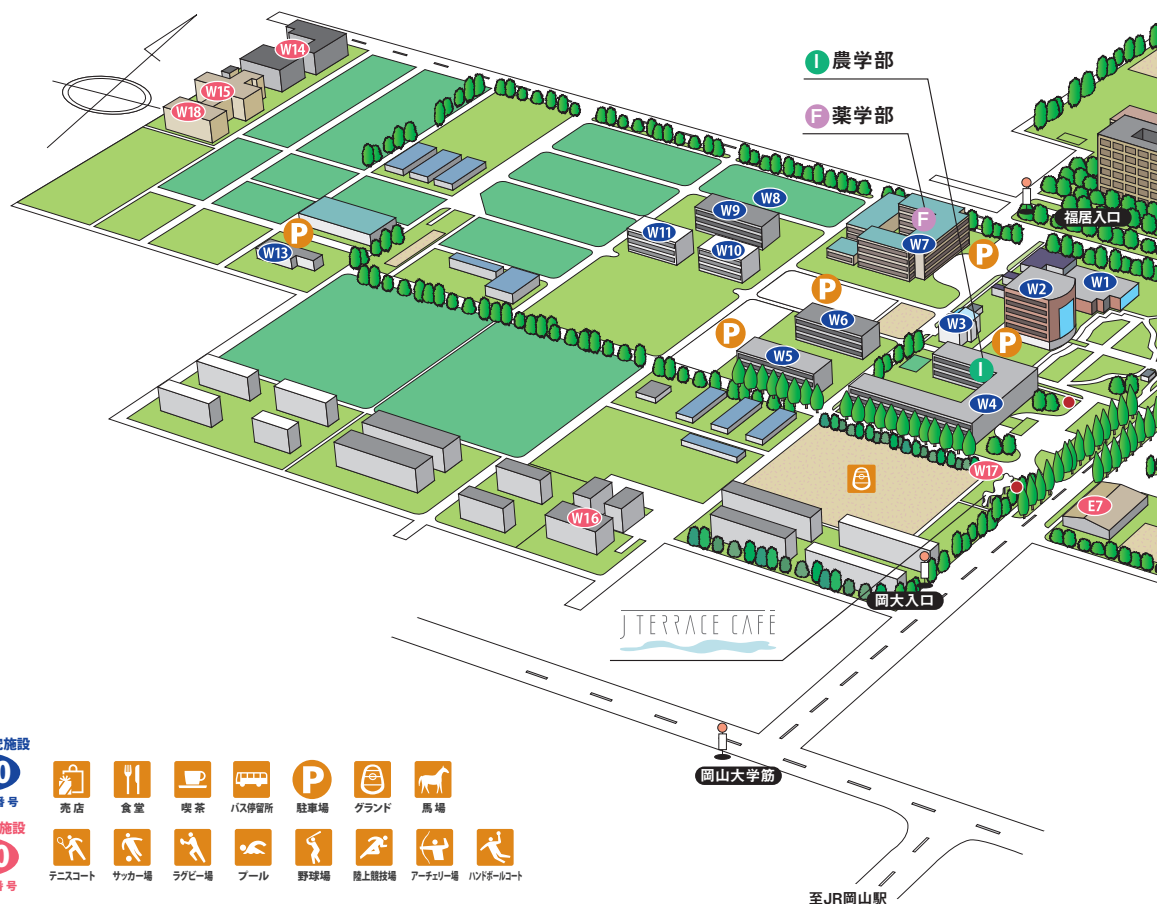


キャンパス等アクセス



津島キャンパス

A文学部 **B**教育学部 **C**法学部 **D**経済学部 **E**理学部
F薬学部 **G**工学部 **H**環境理工学部 **I**農学部



津島地区北キャンパス

N1	文化科学系総合研究棟
	社会文化科学研究科
	法務研究科
	弁護士研修センター
N2	文法経2号館
	法学部
	経済学部
	社会文化科学研究科
N3	ヘルスシステム統合科学研究科
	文法経1号館
	文学部
	社会文化科学研究科
N4	東アジア国際協力・教育研究センター
	ヘルスシステム統合科学研究科
	文明動態学研究センター
	文法経講義棟
N5	文学部考古学資料室
N10	中央図書館
N11	北福祉施設(マスカットユニオン)
N12	情報統括センター
N13	埋蔵文化財調査研究センター
N14	国際交流会館
N15	福居留学生宿舍

N20	理学部本館
	理学部
	マッチングプログラムコース
	自然科学研究科
N21	異分野基礎科学研究所
	理学部2号館
	界面科学研究施設
	コラボレーション・センター
N22	自然生命科学研究支援センター
	分析計測・極低温部門
	自然生命科学研究支援センター
	光・放射線情報解析部門津島施設
N23	自然科学研究科棟
	自然科学研究科
	ヘルスシステム統合科学研究科
	ヘルスシステム統合科学研究科
N24	工学部1号館～14号館・16号館～20号館
	工学部
	自然科学研究科
	ヘルスシステム統合科学研究科
N30～N43	旧工学部15号館
	工学部講義室
	旧工学部21号館
	自然生命科学研究支援センター
N44	動物資源部門津島北施設
	動物資源部門津島北施設
	動物資源部門津島北施設
	動物資源部門津島北施設

N51	環境管理センター
N52	自然科学系総合研究棟
N53	低炭素・廃棄物循環研究センター
N54	環境理工学部棟
N55	環境理工学部
N56	環境生命科学研究科
N57	新技術研究センター
N58	東福祉施設(ピオーネユニオン)
N59	教育学部本館
N60	教育学部
N61	教育学研究科
N62	教師教育開発センター
N63	教育学部講義棟
N64	教育学部東棟
N65	教育学部体育棟
N66	教育学部音楽棟
N67	弓道場
N68	馬房



津島地区西キャンパス

W1	創立五十周年記念館 本部棟
W2	法人監査室、監事支援室 大学本部 評価センター 安全衛生推進機構 研究推進機構
W3	旧事務局庁舎 地域総合研究センター ダイバーシティ推進本部

W4~W6	農学部Ⅰ号館～Ⅲ号館 農学部 環境生命科学研究科 生殖補助医療技術教育研究センター
W7	薬学部1号館・2号館 薬学部 医歯薬学総合研究科 ヘルスシステム統合科学研究科
W8	薬用植物園
W9	岡山大学インキュベータ (中小企業基盤整備機構)

W10	自然生命科学研究支援センター ゲノム・プロテオーム解析部門
W11	自然生命科学研究支援センター 動物資源部門津島南施設
W13	農学部Ⅳ号館 山陽園フィールド科学センター
W14	桑の木留学生宿舍
W15	女子学生寮
W16	津島宿泊所
W17	Junko Fukutake Terrace
W18	国際学生シェアハウス

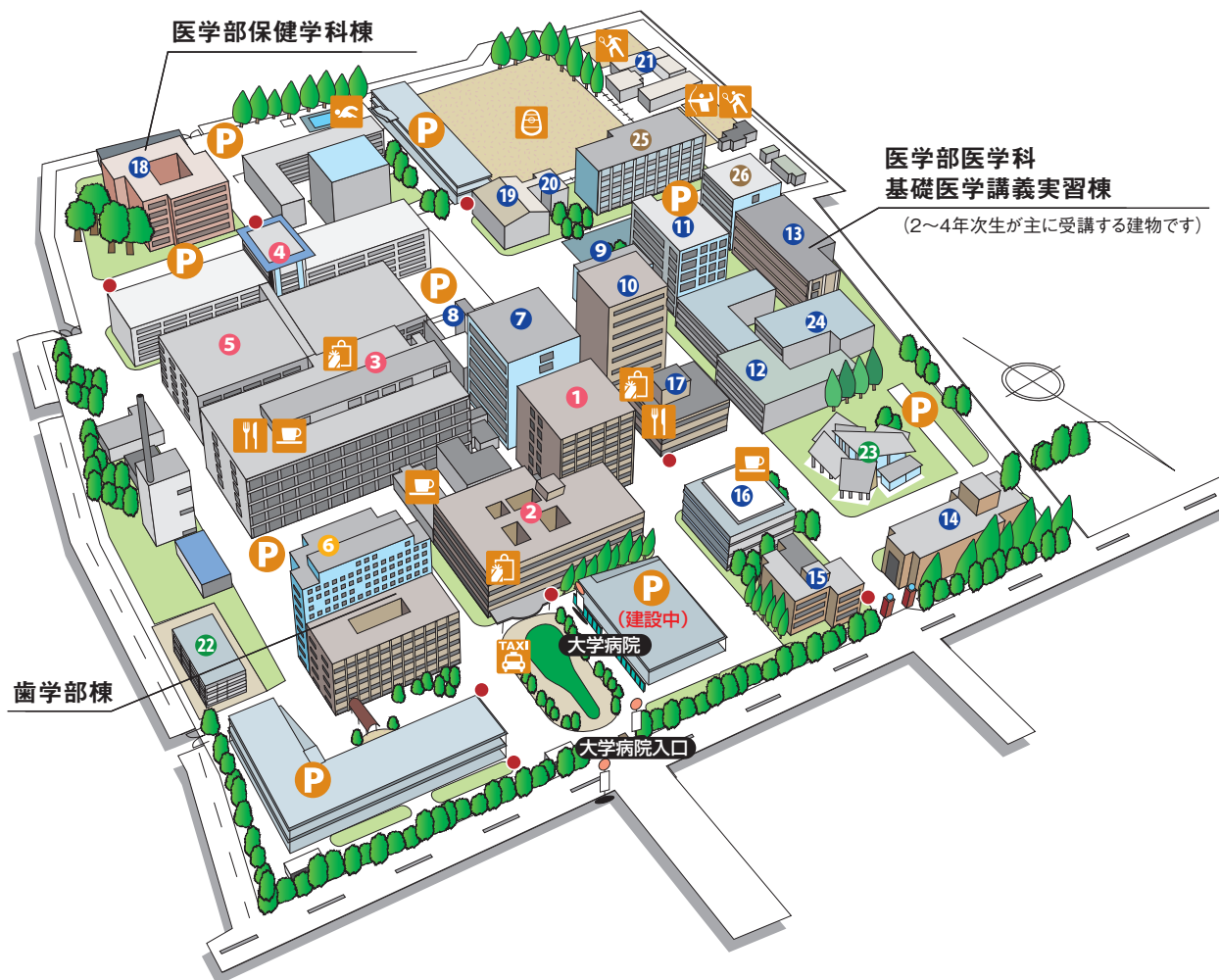
津島地区東キャンパス

E1	南福祉施設(ビーチユニオン) 大学会館
E2	全学教育・学生支援機構 高大接続・学生支援センター キャリア・学生支援室
E3	保健管理センター 一般教育棟
E4	全学教育・学生支援機構 高等教育開発推進センター 基幹教育センター

E4	高大接続・学生支援センター 学生相談室 学務部 国際部 グローバル人材育成院
E5	一般教育棟 全学教育・学生支援機構 高大接続・学生支援センター 障がい学生支援室 スポーツ支援室 グローバル・ディスカバリー・プログラム

E6	清水記念体育館
E7	第二体育館
E8	第一武道館
E9	第二武道館
E10	体育管理施設
E11	校友会文化系クラブ棟
E12	校友会体育系クラブ棟
E13	校友会トレーニング棟
E14	合宿所

鹿田キャンパス



鹿田地区

1	管理棟
2	外来診療棟（医科）
3	中央診療棟
4	入院棟
5	総合診療棟
6	歯学部棟・外来診療棟（医科・歯科）
7	臨床研究棟
8	臨床講義棟及び病理部
9	旧RI研究センター
10	総合教育研究棟
11	基礎研究棟
12	基礎医学棟
13	基礎医学講義実習棟
14	鹿田会館・講堂（旧生化学棟）
15	医学資料棟（旧栄養学棟）

16	附属図書館鹿田分館
17	記念会館
18	保健学科棟
19	体育館
20	武道場
21	校友会クラブ棟
22	地域医療人育成センターおかやま（MUSCAT CUBE）
23	Junko Fukutake Hall
24	医歯薬融合型教育研究棟
25	自然生命科学研究支援センター 動物資源部門鹿田施設
26	自然生命科学研究支援センター 光・放射線情報解析部門鹿田施設 中性子医療研究センター

東山地区



教育学部附属幼稚園
教育学部附属小学校
教育学部附属中学校
教師教育開発センター東山ブランチ

平井地区



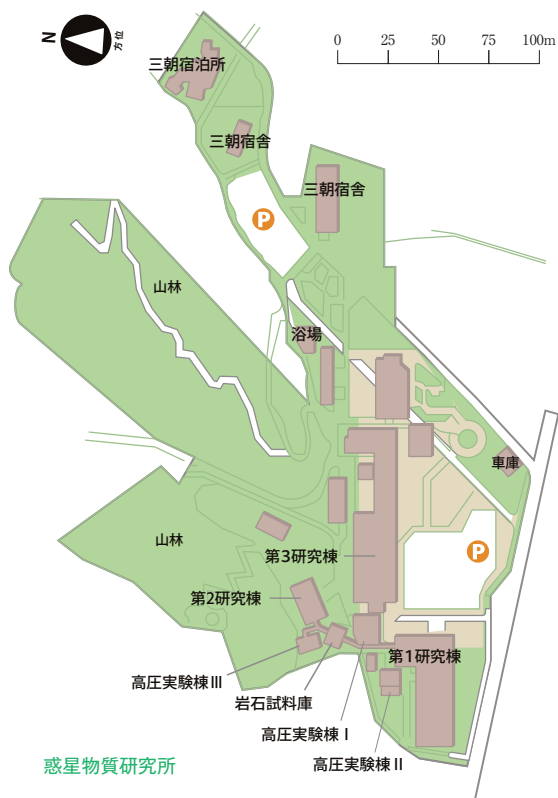
教育学部附属特別支援学校

倉敷地区



資源植物科学研究所
同附属大麦・野生植物資源研究センター
附属図書館資源植物科学研究所分館

三朝地区



惑星物質研究所

岡山大学学歌

♩ = 112 おおらかにかがやかしく
久坂 基 作詞
松本民之助 作曲

やまのみなみに ひかりあふれて つど
いよーるひと みあかーるし あ おぎみる
はるけきかなた おお いなり も ゆるのぞみはと
おくとも そをまなびてもと めん

一、山の南に光りあふれて
つどいよるひとみあかるし
仰ぎみるはるけきかなた
大いなりもゆる望みは
遠くともそを
学びてもとめん

二、内海のほとり 風はさやかに
つどいよるいふきは深し
胸をはりまゆをあぐれば
いやたかしむねの誇りは
ふかくひめそを
学びてもらん

三、まがねふく国 名はふるくとも
つどいよる心あたらし
古のふみをつたえて
うちたんとこしへの道
さわみなくそを
学びてたてん

学歌について

昭和34年、創立10周年を記念して学歌を制定することになり、歌詞を募集したが、応募作品中該当作品がなかったため、教育学部久坂教授に依頼し、歌詞を制定した。

その後歌詞が決定したので、作曲を募集したが、作曲も入選作品がなかったため、東京芸術大学名誉教授松本民之助氏に作曲を依頼して、現在の学歌ができた。

岡山大学学生歌

（昭和28年度）
三沢 弘弘 作詞
宮原 植次 作曲

元気に南も味深く
われらはあつまりはんだやまのやますそに
こがらしがすさぶなをわれらのまなびやを
まもろう おお おお おか
だ い わ れ ら の も の

一、われらはあつまり
はんだ山の山すそに
こがらしがすさぶ中を
われらの学舎を守ろう
おお岡大われらのもの

二、われらはあつまり
ひろい校庭の一面に
もえたつ若木のように
われらの未来を語ろう
おお岡大われらのもの

三、われらはあつまり
われらのうたをうたおう
自由と平和のために
まなびゆくわれらのうたを
おお岡大われらのもの

学生歌について

昭和28年度校友会（現：校友会）委員から学生歌を作成したいとの意向があり、「みんなで歌える歌、創設期を脱してさらに発展をめざすとき、躍進岡大を象徴するもの」という主旨のもと、一般学生から歌詞を募集した。

選考委員会で語った結果、三沢信弘作詞のものに決定し、作曲は宮原植次NHK嘱託に依頼し現在の学生歌になった。

その後昭和30年度、昭和32年度にも募集して二曲の学生歌が作られている。



OKAYAMA
UNIVERSITY

平成11年5月、マークデザイナー・宮崎利一氏、アートディレクター・橋ヶ谷佳正教育学部教授による作品
このマークは、Okayamaの「O」とUniversityの「U」から形作られ、鳥のごとく未来に向かって羽ばたき、光輝く岡山大学の姿を表現している。

Okayamaの「O」Universityの「U」をデザインのモチーフにしている。全体のフォルムは常に世界に向かって開かれる「知の扉」を表現しており、岡山から「知のコミュニケーション」が始まってゆく様子をイメージしている。平成24年4月に、コミュニケーションシンボルとして制定された。



学 章

岡山大学

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号

お問合せ窓口：岡山大学総務・企画部 広報課

Tel. 086-252-1111 Fax. 086-251-7294

E-mail www-adm@adm.okayama-u.ac.jp

編 集：岡山大学総務・企画部 広報課

<https://www.okayama-u.ac.jp/>